

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課 庶務係 内線 152 6-152

Plan (計画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	教育基本法の趣旨に鑑み、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興等を図るため、教育委員会組織の充実と運営の推進を図るもの。						
	施策名	個性と感性を育む学校教育の充実						
	施策の目的	心身に障害のある幼児、児童生徒の適正な就学を図るため就学指導委員会を設置し運営するもの。						
	H24最終予算額	116	千円	H24決算見込額	82	千円	H25当初予算額	116

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	就学指導委員会運営事務	
	予算科目	10.1.2.2	
	実施状況	就学指導委員報酬 調査員謝礼 診断書作成事務費等	

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	就学指導委員会運営事務			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
		A			
評価の理由等	医療、教育、福祉等各分野の専門家を委員としており、毎年度同じ統一基準により適正な教育措置判断を行っており必要不可欠な委員会である。				

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	・事前調査会・就学指導委員会に対する関係機関の共通理解を深め、効率的な運営を図る。 ・私立保育所・幼稚園での就学指導も、公立同様に行われるよう情報提供・共通認識を図る。 ・県(国委託事業)が事務局となり主体的に行っていた砺波地区特別支援連携協議会(特別支援研修・相談業務)の廃止に伴い、市主体の事業のあり方を南砺市・小矢部市と共に検討し、次年度からの実施に向け準備する。

Action (改善)	来年度 (H26)	・ 砺波地区特別支援連絡協議会に替わる体制づくり。
	中長期的 (3~5年)	・ 事業実施方法、体制の見直し。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	就学指導が必要となる児童生徒が増えている。 ⇒児童生徒の把握・対応に時間を要する。方法見直しのうえ2名以上の事務者体制とする。 ⇒医学診断・心理判定資料代が増える。基準見直しのうえ予算措置が必要。 砺波地区特別支援連絡協議会に替わる体制づくりに伴い、新たな予算措置が必要になる可能性有。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>就学指導を必要とする児童生徒が年々増えており、ニーズが高くなっている事務事業である。個々の教育ニーズに応じた指導、支援を行うため、早期から保護者、教育現場の共通認識を図りながら、関係機関と連携のうえ適切な就学指導が行われ成果が上がっている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課 庶務係 内線 151 6-

Plan (計画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	教育基本法の趣旨に鑑み、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興等を図るため、教育委員会組織の充実と運営の推進を図るもの。						
	施策名	個性と感性を育む学校教育の充実						
	施策の目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育委員会事務局の円滑な運営を図るもの。						
	H24最終予算額	6,480	千円	H24決算見込額	4,822	千円	H25当初予算額	7,463

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	教育委員会事務局運営事務					
	予算科目	10.1.2.3					
	実施状況	事務局運営費 臨時職員（障害者雇用）賃金 教職員異動業務支援員賃金 各種補助金（小中学校長会・学校保健会・県立となみ養護学校） 各種負担金					

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	教育委員会事務局運営事務					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	委員会事務局の運営のほかに、市内小中学校の連携を図りながら、円滑な学校運営を目指すものであり、今後より一層、充実した対応が望まれる。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	教育基本法に基づき、本市の教育行政の振興を図るため（仮称）教育振興基本計画の策定

Action (改善)	来年度 (H26)	(仮称) 教育振興基本計画の実施及び進捗状況の確認
	中長期的 (3~5年)	(仮称) 教育振興基本計画の計画期間の進捗状況の確認、計画の見直しを行う。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	平成28年までの砺波市総合計画後期計画との調整を図る必要がある。 近年の急速に変化する社会情勢の中、市民の教育行政に対するニーズも多種多様化している。 教育全般に関する最新の情報を的確に把握するように努める。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）教育振興基本計画を、県の計画策定に合わせて策定する予定であったが、県の計画策定が伸びたため次年度予定となった。 ・教職員の異動事務の市町村への移譲や学校現場での多種、多様な事案に適切な対応するため教育現場に精通した教育職の配置が急務である。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	児童生徒の個性を伸ばし、豊かな感性を育み生きる力を養うとともに、基礎学力の定着化を図っていくもの。						
	施策名	個性と感性を育む学校教育の充実						
	施策の目的	教育の支援、調査、研究、研修を図り、教育活動の普及を推進する。						
	H24最終予算額	4,600	千円	H24決算見込額	4,416	千円	H25当初予算額	2,272

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	教育センター運営事務					
	予算科目	10.1.3.1					
	実施状況	教育大会 各種研修会					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	教育センター運営事務						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	教職員研修が、教職員の資質向上。ひいては児童生徒の学習内容の質的向上							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	教育大会、教職員研修の充実を図る。 (1) 運営事業の開催 (2) 研修事業の開催 (3) 調査研究事業の実施 (4) 適応指導教室の運営

Action (改善)	来年度 (H26)	同上
	中長期的 (3~5年)	同上
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	砺波市教育委員会の「学校教育の基本」及び「学校教育重点目標」に基づき努める。教職員の資質や指導力の向上を目指し、教育過程の推進や教育の今日的課題に対応した現職研修を行う。

■所属長評価

施策としての総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>教職員の資質・指導力の向上や今日的な課題に対応した各種研修会を、計画的に実施しており効果が上がっている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	児童生徒の個性を伸ばし、豊かな感性を育み生きる力を養うとともに、基礎学力の定着化を図っていくもの。						
	施策名	個性と感性を育む学校教育の充実						
	施策の目的	学齢期の児童生徒の協調性、社会性を養い集団生活への適応力を高める。						
	H24最終予算額	6,548	千円	H24決算見込額	6,202	千円	H25当初予算額	6,548

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	適応指導教室運営事業					
	予算科目	10.1.3.2					
	実施状況	相談員賃金 生徒指導推進協力員報償費					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	適応指導教室運営事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 A			
	評価の理由等	不登校児童生徒の活動場所として、重要な役割を果たしている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	適応指導教室と学校との連携を図り、不登校児童生徒の在籍学校への登校を目指す。他市との連携や情報交換、研修等により、担当職員のレベルの向上を図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	同上
	中長期的 (3~5年)	同上
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	砺波市教育委員会の「学校教育の基本」及び「学校教育重点目標」に基づき、生徒指導、教育相談、適応指導機能の充実と推進に努める。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>様々な理由で登校できない児童生徒の活動場所として役割を果たしている。また、生活相談員と学校との情報交換も積極的に成されるようになってきている。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課 庶務係 内線 152 6-

Plan (計画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	地元の優秀な人材に教育の機会を与える支援を展開していく。						
	施策名	個性と感性を育む学校教育の充実						
	施策の目的	経済的理由等により、就学の機会を逸することのないよう支援策を講じていくもの。						
	H24最終予算額	14,640	千円	H24決算見込額	13,330	千円	H25当初予算額	15,000

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	奨学資金貸付事務					
	予算科目	10.1.4.1					
	実施状況	奨学資金貸付金					

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	奨学資金貸付事務					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	経済的理由により、就学が困難な意欲と能力ある学生に対し、学資の貸与を行っているものであり、社会的にも必要な事業であり成果が上がっていると思われる。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	高校生の採択基準（内規）の見直し。 事業の周知を図る。 償還金滞納者を作らないための分納・誓約書の早期対応。

Action (改善)	来年度 (H26)	事業の周知を図る。 償還金滞納者0人とするための、早期の分納勧奨・誓約書徴収。
	中長期的 (3~5年)	償還方法を「基本年払い、相談者のみ分納の個別対応」から、「年払い・月払い等分納の選択制」に変更し、償還者の負担軽減を図る。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	奨学生増加に伴う予算措置

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>貸与申請件数は、平成24年度は前年度に比べ8件増の17件となった。経済状況が変動する中で就学意欲のある者への学資貸与は必要であり、今後も制度の充実と市民への周知を図っていかねばならない。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課 学務係 内線 153

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	同世代の子どもが共同生活を通じて社会性を身につけていく学校教育を、機会を逸することなく均等に受けられるよう各種の事業等を展開していくもの。						
	施策名	個性と感性を育む学校教育の充実						
	施策の目的	学校教育の趣旨に基づき、教材備品等の充実を図る。						
	H24最終予算額	4,160	千円	H24決算見込額	3,489	千円	H25当初予算額	4,460

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	小学校教材備品整備事業					
	予算科目	10.2.2.2					
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の教材備品の一括購入 理科備品の一括購入 教科書の改訂に伴う準拠教材の整備 					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	小学校教材備品整備事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	学校現場の需要を把握しながら所要の教材を定期的に供給し、学校教育の円滑な実施に資することができた。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	<ul style="list-style-type: none"> 次年度の予算要望に際して各校で現地ヒアリングを行い、教材備品の現状を正確に把握する。 早期に各校への予算の再配当を行い、予算執行の効果を上げる。

Action (改善)	来年度 (H26)	・引き続き次年度の予算要望に際して各校で現地ヒアリングを行い、教材備品の現状を正確に把握する。 ・平成27年度の教科書改訂に向けた教科書準拠教材の選定を行うに当たり、必要性を見極め、必要経費を低く抑える。
	中長期的 (3~5年)	備品購入予算を各校へ再配当する際の配分ルール(均等割り・児童生徒数割り等)を設ける。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	学校現場での教材備品の過不足の実態が、把握しにくい。 ⇒各学校で作成する備品要望調書に現状を詳細に記述させるなど、学校要望の把握方法を改善する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>教育総務課での一括購入と学校配当予算により整備を行っているが、それぞれ早期発注、整備に努めた。</p>		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 153

6-

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	同世代の子どもが共同生活を通じて社会性を身につけていく学校教育を、機会を逸することなく均等に受けられるよう各種の事業等を展開していくもの。						
	施策名	個性と感性を育む学校教育の充実						
	施策の目的	特別支援教育就学児童及び要保護・準要保護児童の保護者の経済的負担の軽減を図り、就学機会を確保する。また、遠距離通学者の負担の軽減を図る。						
	H24最終予算額	14,395	千円	H24決算見込額	13,832	千円	H25当初予算額	16,241

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	小学校児童就学奨励事業					
	予算科目	10.2.2.4					
	実施状況	特別支援教育就学奨励費 遠距離通学児童補助 準要保護児童援助 災害時緊急援助					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	小学校児童就学奨励事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	就学に伴う保護者の費用負担の軽減を図り、児童生徒の就学の機会の確保に資している。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	<ul style="list-style-type: none"> 各保護者にとって制度の内容が分かりやすいよう、申請書類と一緒に配布する説明書の内容を改善する。 生活保護制度の基準額の見直しに伴って就学援助の対象範囲が狭くなることのないよう、他市の動向を調査しながら次年度からの対応方法を検討する。

Action (改善)	来年度 (H26)	・認定・支給に関する事務を効率化するため、関係様式及び電子データを見直す。 ・生活保護制度の基準額の見直しに伴って就学援助の対象範囲が狭くなることのないよう、他市の動向を注視しながら対策を講じる。
	中長期的 (3~5年)	現在は、年度ごとの新規申請を必要としているが、昨年度、受給資格を有していた保護者については、自動的に受給資格を更新できる仕組み（年に1度の資格審査は必要）の導入を、他市の運用を調査のうえ検討する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	社会構造の変化に伴い支給対象者が今後増加する場合は、支給費目又は支給上限額を見直すことも検討する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 就学援助の対象人数は増加傾向にあり、本事業は教育の機会均等の確保に資している。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課 庶務係 内線 151 6-

Plan (計画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	同世代の子どもが共同生活を通じて社会性を身につけていく学校教育を、機会を逸することなく均等に受けられるよう各種の事業等を展開していくもの。						
	施策名	個性と感性を育む学校教育の充実						
	施策の目的	児童が心のゆとりを持てるような環境を整え、悩みやストレスを和らげる第三者的存在の「心の相談員」を配置する。						
	H24最終予算額	2,460	千円	H24決算見込額	2,204	千円	H25当初予算額	3,004

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	小学校心の教室運営事業					
	予算科目	10.2.2.5					
	実施状況	心の教室相談員賃金					

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	小学校心の教室運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	相談員を小学校4校に配置したが、現在の社会・家庭環境等から、今後も配置校を増やす等拡充を要する。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	相談員配置について、学校長ヒアリングを行い適正に配置する。 ニーズに的確かつ効果的に対応する配置となっているか確認する。 配置基準の検討

Action (改善)	来年度 (H26)	同上
	中長期的 (3~5年)	同上
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	現在の社会・家庭環境等から、今後も配置校を増やすなど拡充を要する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>児童のいろんな悩みを聞くなどストレスを和らげ、ゆとりや意欲のもてる環境整備に成果が上がった。平成24年度は4校に配置したが、今後も計画的に拡充を図る。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課 学務係 内線 153

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	同世代の子どもが共同生活を通じて社会性を身につけていく学校教育を、機会を逸することなく均等に受けられるよう各種の事業等を展開していくもの。						
	施策名	個性と感性を育む学校教育の充実						
	施策の目的	学校教育の趣旨に基づき、教材備品等の充実を図る。						
	H24最終予算額	7,402	千円	H24決算見込額	7,336	千円	H25当初予算額	2,980

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	中学校教材備品整備事業					
	予算科目	10.3.2.2					
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の教材備品の一括購入 理科備品の一括購入 教科書の改訂に伴う準拠教材の整備 					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	中学校教材備品整備事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	学校現場の需要を把握しながら所要の教材を定期的に供給し、学校教育の円滑な実施に資することができた。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	<ul style="list-style-type: none"> 次年度の予算要望に際して各校で現地ヒアリングを行い、教材備品の現状を正確に把握する。 早期に各校への予算の再配当を行い、予算執行の効果を上げる。

Action (改善)	来年度 (H26)	・引き続き次年度の予算要望に際して各校で現地ヒアリングを行い、教材備品の現状を正確に把握する。 ・平成27年度の教科書改訂に向けた教科書準拠教材の選定を行うに当たり、必要性を見極め、必要経費を低く抑える。
	中長期的 (3~5年)	備品購入予算を各校へ再配当する際の配分ルール(均等割り・児童生徒数割り等)を設ける。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	学校現場での教材備品の過不足の実態が、把握しにくい。 ⇒各学校で作成する備品要望調書に現状を詳細に記述させるなど、学校要望の把握方法を改善する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/> 効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>教育総務課での一括購入と学校配当予算により整備を行っているが、それぞれ早期発注、整備に努めた。</p>

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 153

6-

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	同世代の子どもが共同生活を通じて社会性を身につけていく学校教育を、機会を逸することなく均等に受けられるよう各種の事業等を展開していくもの。						
	施策名	個性と感性を育む学校教育の充実						
	施策の目的	特別支援教育就学生徒及び要保護・準要保護児童の保護者の、経済的負担の軽減を図り、就学機会を確保する。また、遠距離通学者の負担の軽減を図る。						
	H24最終予算額	15,156	千円	H24決算見込額	14,210	千円	H25当初予算額	16,035

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	中学校生徒就学奨励事業					
	予算科目	10.3.2.4					
	実施状況	特別支援教育就学奨励費 遠距離通学生徒補助 準要保護生徒援助 災害時緊急援助					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	中学校生徒就学奨励事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	就学に伴う保護者の費用負担の軽減を図り、児童生徒の就学の機会の確保に資している。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> 各保護者にとって制度の内容が分かりやすいよう、申請書類と一緒に配布する説明書の内容を改善する。 生活保護制度の基準額の見直しに伴って就学援助の対象範囲が狭くなることのないよう、他市の動向を調査しながら次年度からの対応方法を検討する。

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・認定・支給に関する事務を効率化するため、関係様式及び電子データを見直す。 ・生活保護制度の基準額の見直しに伴って就学援助の対象範囲が狭くなることのないよう、他市の動向を注視しながら対策を講じる。
	中長期的 (3~5年)	現在は、年度ごとの新規申請を必要としているが、昨年度、受給資格を有していた保護者については、自動的に受給資格を更新できる仕組み（年に1度の資格審査は必要）の導入を、他市の運用を調査のうえ検討する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	社会構造の変化に伴い支給対象者が今後増加する場合は、支給費目又は支給上限額を見直すことも検討する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>就学援助の対象人数は増加傾向にあり、本事業は教育の機会均等の確保に資している。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課 庶務係 内線 151 6-

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	同世代の子どもが共同生活を通じて社会性を身につけていく学校教育を、機会を逸することなく均等に受けられるよう各種の事業等を展開していくもの。						
	施策名	個性と感性を育む学校教育の充実						
	施策の目的	生徒が心のゆとりを持てるような環境を整え、悩みやストレスを和らげる第三者的存在の「心の相談員」を配置する。						
	H24最終予算額	2,519	千円	H24決算見込額	2,119	千円	H25当初予算額	2,425

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	中学校心の教室運営事業	
	予算科目	10.3.2.5	
	実施状況	中学校の心の教室相談員への賃金の支給	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	中学校心の教室運営事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			A		
評価の理由等	相談員を中学校4校に全て配置し、生徒の日常の心のケア、相談相手になっており成果が上 がっている。				

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価 結果及び理由	
	前年度二次評価 に対する改善策	
	前年度二次評価 に対する 改善結果又は 取組状況	
	今年度 (H25)	相談員配置について、学校長ヒアリングを行い適正に配置する。 ニーズに的確かつ効果的に対応する配置となっているか確認する。 配置基準の検討

Action (改善)	来年度 (H26)	同上
	中長期的 (3~5年)	同上
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	現在の社会・家庭環境等から、今後も配置校を増やすなど拡充を要する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>児童のいろんな悩みを聞くなどストレスを和らげ、ゆとりや意欲のもてる環境整備に成果が上がった。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 153

6-

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	児童生徒の個性を伸ばし、豊かな感性を育み、生きる力を養うとともに、基礎学力の定着化を図っていくもの。						
	施策名	豊かな心を育む教育の充実						
	施策の目的	学校教育の振興を図るため、学習教材や教職員の研修、情報機器の整備、学校図書館司書の配置等、幼小中の連携を図る。						
	H24最終予算額	54,769	千円	H24決算見込額	48,310	千円	H25当初予算額	54,808

平成24年度事務事業の実施状況

D (実 施)	事業名	小学校教育奨励事業①（経常的経費）					
	予算科目	10.2.2.1					
	実施状況	学校図書館司書賃金 低学年教員支援員賃金 スタディメイト賃金 小学校PC保守管理委託			備品購入費 教職員内地留学補助金 ふるさと学習推進事業		

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	小学校教育奨励事業①（経常的経費）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A					
評価の理由等	・児童の主体的、意欲的な学習活動、読書活動等を支援するため、学習支援員、スタディメイト、図書館司書の配置を年度当初から実施した。 ・情報教育が不可欠な時代となっており、児童がコンピュータに触れ・学べる環境を安定的に提供する必要がある。また、教職員の校務にコンピュータは欠かせない。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	・学校図書館司書の継続的配置に努める。他の学校の見学を企画し、自校の図書室のさらなる充実を図る。 ・学校に配備している教育用・校務用コンピュータの故障等に際しては、保守点検業者と十分に打ち合わせ、最も安価で効果的な対処法を選択する。

Action (改善)	来年度 (H26)	小学校及び中学校でパソコン教室の教育用コンピュータを更新するが、小・中間で仕様を可能な限り共通させ、経費負担を低く抑える。
	中長期的 (3~5年)	教職員が使用している校務用コンピュータが平成26年度末に配備後5年間を経過するため、平成27年度から更新を開始する。導入機については、高度化・複雑化しているソフトウェア・ウェブ環境に対応できるよう処理能力を向上させつつ、経費を低く抑えられるよう、仕様を精査する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	学校において校務用・教育用コンピュータに係るトラブルが発生した場合は職員が対処しているが、対処に想定外の時間を要する場合も少なくない。そこで、現場での一次対応ができるよう、各学校の教職員向けのマニュアルを整備する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>個別支援を必要とする児童の増加への対応等学校のニーズに応じた支援員の配置等成果が上がっている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 154

6-

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	児童生徒の個性を伸ばし、豊かな感性を育み、生きる力を養うとともに、基礎学力の定着化を図っていくもの。						
	施策名	豊かな心を育む教育の充実						
	施策の目的	学校教育の趣旨に基づき、各種学習活動に補助を行い、感性豊かな人材を育てる。						
	H24最終予算額	5,611	千円	H24決算見込額	5,169	千円	H25当初予算額	6,156

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	小学校教育振興補助事業					
	予算科目	10.2.2.3					
	実施状況	芸術鑑賞補助金 社会・理科現地学習補助金 研究指定校補助金 小教研補助金 各種補助金					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	小学校教育振興補助事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	心豊かな人間性を育成する面からも、校外研修、芸術鑑賞等幅広い視野からの学習は重要であり、経費面の助成を実施している。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	連合運動会、連合音楽会、芸術鑑賞等スクールバスを利用する事業があることから、スクールバスの効率的運行を図り、もって補助金の削減を目指す。

Action (改善)	来年度 (H26)	事業の効率化を図り、補助金額の削減を目指す。
	中長期的 (3~5年)	補助金の算出根拠を見直し、さらなる事業の効率化と補助金額削減を目指す。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	教育目的を阻害しないように、活動内容が陳腐化しないよう配慮する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>校外学習、芸術鑑賞等への助成による保護者負担の低減。これら事業の実施により心豊かな人間性育成に成果が上がっている。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課 学務係 内線 153 6-153

Plan (計画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	児童生徒の個性を伸ばし、豊かな感性を育み、生きる力を養うとともに、基礎学力の定着化を図っていくもの。						
	施策名	豊かな心を育む教育の充実						
	施策の目的	学校教育の振興を図るため、学習教材や教職員の研修、情報機器の整備、学校図書館司書の配置等、幼小中の連携を図る。						
	H24最終予算額	33,496	千円	H24決算見込額	31,045	千円	H25当初予算額	28,109

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	中学校教育奨励事業①（経常的経費）					
	予算科目	10.3.2.1					
	実施状況	学校図書館司書賃金 スタディメイト賃金 中学校PC保守管理委託 教職員内地留学補助金			備品購入費 ふるさと学習推進事業		

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	中学校教育奨励事業①（経常的経費）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延滞することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A					
評価の理由等	・児童の主体的、意欲的な学習活動、読書活動等を支援するため、教員支援員、スタディメイト、図書館司書の配置を年度当初から実施した。 ・情報教育が不可欠な時代となっており、生徒がコンピュータに触れ・学べる環境を安定的に提供する必要がある。また、教職員の校務にコンピュータは欠かせない。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	・学校の需要状況を把握しながら、スタディメイトを適正に配置する。 ・学校に配備している教育用・校務用コンピュータの故障等に際しては、保守点検業者と十分に打ち合わせ、最も安価で効果的な対処法を選択する。

Action (改善)	来年度 (H26)	小学校及び中学校でパソコン教室の教育用コンピュータを更新するが、小・中間で仕様を可能な限り共通させ、経費負担を低く抑える。
	中長期的 (3~5年)	教職員が使用している校務用コンピュータが平成26年度末に配備後5年間を経過するため、平成27年度から更新を開始する。導入機については、高度化・複雑化しているソフトウェア・ウェブ環境に対応できるよう処理能力を向上させつつ、経費を低く抑えられるよう、仕様を精査する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	学校において校務用・教育用コンピュータに係るトラブルが発生した場合は職員が対処しているが、対処に想定外の時間を要する場合も少なくない。そこで、現場での一次対応ができるよう、各学校の教職員向けのマニュアルを整備する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>個別支援を必要とする生徒の増加への対応等学校のニーズに応じた支援員の配置等成果が上がっている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 154

6-

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	児童生徒の個性を伸ばし、豊かな感性を育み、生きる力を養うとともに、基礎学力の定着化を図っていくもの。						
	施策名	豊かな心を育む教育の充実						
	施策の目的	学校教育の趣旨に基づき、各種学習活動に補助を行い、感性豊かな人材を育てる。						
	H24最終予算額	5,089	千円	H24決算見込額	4,971	千円	H25当初予算額	5,885

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	中学校教育振興補助事業					
	予算科目	10.3.2.3					
	実施状況	芸術鑑賞補助金 中教研補助金 中体連補助金 各種大会等参加者補助金(県・北信越・全国)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	中学校教育振興補助事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	心豊かな人間性を育成する面からも、校外研修、芸術鑑賞等幅広い視野からの学習は重要であり、経費面の助成を実施している。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	事業にスクールバスを利用するものは、スクールバスの効率的運行を実施し、補助金額の削減を目指す。

Action (改善)	来年度 (H26)	補助金の交付基準を見直し、削減を図る。
	中長期的 (3~5年)	補助金の交付基準を見直し、削減を図るとともに、事業の充実かを図る。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	補助金の削減により、事業が陳腐化しないよう配慮する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>校外学習、芸術鑑賞等への助成による保護者負担の低減。これら事業の実施により心豊かな人間性育成に成果が上がっている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 155

6-

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	児童生徒・教職員が健康で豊かな学校生活を送れるよう、健康保持増進を図り、学校教育の円滑な実施と成果の確保に資する。						
	施策名	健やかな体づくりと食育の推進						
	施策の目的	児童生徒・教職員の健康診断及び保健備品の整備。						
	H24最終予算額	15,177	千円	H24決算見込額	14,431	千円	H25当初予算額	14,956

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	小学校保健管理事業					
	予算科目	10.2.1.4					
	実施状況	健康診断等委託料 学校医報酬等 日本スポーツ振興センター負担金 日本スポーツ振興センター共済給付金 備品購入費					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	小学校保健管理事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A					
評価の理由等	学校保健安全法に基づき、児童・教職員の健康診断を実施するとともに、学校管理下における怪我への医療給付等適切に対応している。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	健康診断・学校医等報酬について他市の実施状況を調査し、検査委託業者・委託額、報酬額が妥当か確認する。

Action (改善)	来年度 (H26)	中学校の小児生活習慣病予防検診の実績をもとに、小学校での実施を検討する。
	中長期的 (3~5年)	小児生活習慣病予防検診について再検討結果により変更があれば対応する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	健康診断・学校医等報酬について他市の実施状況を把握し、検査委託業者・委託額、報酬額が妥当か確認し、検査委託業者・委託額、報酬額の適正な予算を執行が必要となる。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 学校保健安全法に基づき実施しており成果が上がっている。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 155

6-

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	児童生徒・教職員が健康で豊かな学校生活を送れるよう、健康保持増進を図り、学校教育の円滑な実施と成果の確保に資する。						
	施策名	健やかな体づくりと食育の推進						
	施策の目的	児童生徒・教職員の健康診断及び保健備品の整備。						
	H24最終予算額	10,863	千円	H24決算見込額	9,907	千円	H25当初予算額	11,021

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	中学校保健管理事業					
	予算科目	10.3.1.3					
	実施状況	健康診断等委託料 学校医報酬等 日本スポーツ振興センター負担金 日本スポーツ振興センター共済給付金 備品購入費					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	中学校保健管理事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	学校保健安全法に基づき、生徒・教職員の健康診断を実施するとともに、学校管理下における怪我への医療給付等適切に対応している。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	健康診断・学校医等報酬について他市の実施状況を調査し、検査委託業者・委託額、報酬額が妥当か確認する。

Action (改善)	来年度 (H26)	小児生活習慣病予防検診開始から5年目となる。実績をもとに今後のあり方を再度検討する。
	中長期的 (3~5年)	小児生活習慣病予防検診について再検討結果により変更があれば対応する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	健康診断・学校医等報酬について他市の実施状況を把握し、検査委託業者・委託額、報酬額が妥当か確認し、検査委託業者・委託額、報酬額の適正な予算を執行が必要となる。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>学校保健安全法に基づき実施しており成果が上がっている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 給食センター 管理食育係 内線 32-3561

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	安全で豊かな学校給食の推進						
	施策名	健やかな体づくりと食育の推進						
	施策の目的	安全で衛生的な学校給食の推進と食育の推進、経費節減と作業効率の向上						
	H24最終予算額	64,757	千円	H24決算見込額	64,102	千円	H25当初予算額	68,276

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	給食センター運営事業					
	予算科目	10.6.3.2					
	実施状況	調理洗浄業務委託(62,475千円)細菌検査委託(725千円)調理用等消耗器材費(208千円)運営事務費(694千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	給食センター運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	市内小学校7校、中学校4校、幼稚園7園の約4720食の給食を年間204日実施した。庄川小学校給食の円滑な移行を目標に、庄川小学校児童に試食会を行うとともに、統一献立を定期的実施した。また、食物アレルギー対応の食品数を増やし、児童生徒と保護者の負担を軽減した。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	庄川小学校給食のセンター移行を滞りなく行う。 調理洗浄業務の契約期間(3年間)が満了となるため、次期契約にむけて業者選定を行う。 食物アレルギー対応食の推進。 地産地消拡大のため、新しい納入業者(生産者)を発掘する。

Action (改善)	来年度 (H26)	調理洗浄業務と配送業務の新しい契約(3年間)が開始となる。 食物アレルギー対応食の推進。 地産地消の拡大を図る。
	中長期的 (3~5年)	食物アレルギー対応食の範囲を拡大していく。 安全安心な材料として地場産野菜の購入率を上げていく。 ランチルームのない中学校でクラス数が増加するので、器具等の設備の準備、配送等について円滑に行うよう対処する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	食物アレルギー対応食の推進や、幼稚園から中学校までの食育に対するニーズが多様となっていくため栄養指導内容が広範囲になり、現行の栄養士数では無理がある。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 庄川小学校給食のセンター移行の準備が計画通り終了した。また、食物アレルギー対応食の実施も順調に行うことができた。		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	WGにおいて二次評価が必要と判断された事務事業		
前年度評価		維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由	給食センターの運営形態は維持するものとする。なお、平成25年度に委託契約期間が満了することから、3年間の業務委託の成果を精査し、効果を高める検討を行われたい。		

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 給食センター 管理食育係 内線 32-3561

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	生きる力を育む教育の充実						
	施策目標	安全で豊かな学校給食の推進						
	施策名	健やかな体づくりと食育の推進						
	施策の目的	安全で衛生的な学校給食の推進と食育の推進。経費節減と作業効率の向上。						
	H24最終予算額	78,896	千円	H24決算見込額	78,310	千円	H25当初予算額	46,994

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	給食センター管理事業					
	予算科目	10.6.3.3					
	実施状況	工事請負費(33,326千円)光熱水費(25,263千円)配送業務委託(7,315千円)施設管理点検委託(4,426千円)施設機器修繕(2,706千円)食器等補充(4,778千円)車検等管理経費(496千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	給食センター管理事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	庄川小学校給食を給食センターで実施するために必要な施設の改修、大型調理機器の更新と導入、食器の購入等を予定どおり行った。 また、市内小学校7校、中学校4校、幼稚園7園の約4720食、年間204日の給食を実施する施設の維持・修繕を行った。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	庄川小学校給食が円滑に実施できるよう、調理時間の短縮と、配送ルートと時間の変更を行う。 ボイラーや大型調理機器などの設備が10年を経過し、たびたび故障や不具合を起こしているため、長期的な点検及び修繕計画を立てる。 配送業務委託期間(3年間)が終わるので、次年度に向けて業者の選定を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	配送業務委託契約(3年間)が新たに始まる。 修繕計画に伴い、必要な点検・修繕を実施する。
	中長期的 (3~5年)	施設設備のメンテナンスを徹底する。 配送車が平成6年・7年・8年製造と古く故障が多いので順次買い換えていくか、又は契約更新時において配送車持込でかつ車両管理込みの運送委託とする。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	施設設備の中でも冷蔵庫のように故障内容によっては機器全体を換える必要があるものがあり、経費が増加する。 配送車の買い替えや、又は配送車込みで管理も含んだ委託にすると経費が増加する。

■所属長評価

施策としての総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/> 効率化 (費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 施設改修や大型機械等の導入が予定通り終了し、平成25年度からの庄川小学校給食のセンター化準備を行うことができた。

■二次評価 (ワーキンググループにて記載)

選定理由	WGにおいて二次評価が必要と判断された事務事業	
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	維持	
今年度評価の理由	今後、設備あるいは車両の老朽化などによる更新等の将来的な負担を平準化するため、中長期的な計画を策定するものとし、配送及び車両管理等を含めた委託内容の変更について検討された。 また、施設についても同様に対応されたい。	

■二次評価に対する改善策 (所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 153

6-

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	安全で安心な教育環境づくり						
	施策目標	学校の運営管理の円滑化及び学校施設の整備により、安全で安心な教育環境を確保する。						
	施策名	学校施設の整備・充実						
	施策の目的	小学校施設の整備と運営管理等の円滑化を図る。						
	H24最終予算額	35,960	千円	H24決算見込額	33,568	千円	H25当初予算額	35,110

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	小学校管理運営事業					
	予算科目	10.2.1.2					
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・校務助手、給食パートの雇用 ・校務用消耗品の購入 ・校務用備品の修理 					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	小学校管理運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
	評価の理由等	学校内外の環境整備やスムーズな校務運営の一定確保が図られている。					

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の状況を見極め、校務助手や給食パートを適正に配置する。 ・各校の需要を正確に把握し、効率的かつ効果的に予算を執行する。

Action (改善)	来年度 (H26)	同上
	中長期的 (3~5年)	同上
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> 各校の状況を見極め、計画的に適正な校務助手や給食パートを配置するための情報の共有を行い、人材の確保を行う必要がある。 各校の需要を正確に把握し、効率的かつ効果的に予算を執行が必要となる。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>臨時校務助手、給食パートの適正配置に努めた。備品の早期発注に努めた。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 153

6-

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	安全で安心な教育環境づくり						
	施策目標	学校の運営管理の円滑化及び学校施設の整備により、安全で安心な教育環境を確保する。						
	施策名	学校施設の整備・充実						
	施策の目的	中学校施設の整備と運営管理等の円滑化を図る。						
	H24最終予算額	20,473	千円	H24決算見込額	19,619	千円	H25当初予算額	24,618

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	中学校管理運営事業					
	予算科目	10.3.1.2					
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 校務助手、給食パートの雇用 校務用消耗品の購入 校務用備品の修理 					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	中学校管理運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	学校内外の環境整備やスムーズな校務運営の一定確保が図られている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> 各校の状況を見極め、校務助手や給食パートを適正に配置する。 各校の需要を正確に把握し、効率的かつ効果的に予算を執行する。

Action (改善)	来年度 (H26)	同上
	中長期的 (3~5年)	同上
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> 各校の状況を見極め、計画的に適正な校務助手や給食パートを配置するための情報の共有を行い、人材の確保を行う必要がある。 各校の需要を正確に把握し、効率的かつ効果的に予算を執行が必要となる。

■所属長評価

施策としての総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>臨時校務助手、給食パートの適正配置に努めた。備品の早期発注に努めた。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価の理由			

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 学校建設室

6-内線 182

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実							
	施策区分	安全で安心な教育環境づくり							
	施策目標	・安全で安心な教育環境を確保するため、学校施設の整備・充実を図る。							
	施策名	学校施設の整備・充実							
	施策の目的	・施設の高寿命化とライフサイクルコストの低減を進める。							
	H24最終予算額	171,723	千円	H24決算見込額	97,594	千円	H25当初予算額	現年 繰越	96,045 70,528

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	小学校施設管理事業	
	予算科目	10.2.1.5	
	実施状況	燃料費(13,667千円)、電気料(29,229千円)、上水道料(6,644千円)、下水道料(3,749千円)、修繕費(8,261千円)、施設管理委託料(15,102千円)、工事請負費(13,248千円)、賃金(3,318千円)、施設管理諸費(4,376千円) ※H25へ繰越(砺波南部小、鷹栖小ランチルーム空調設備、トイレ改修工事 70,528千円)	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	小学校施設管理事業		
	必要性・妥当性	3	点 3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点 3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	2	点 3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	2	点 3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	10	点 A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	B ・学校施設の修繕を緊急性の高いものから実施するとともに、保守管理業務を的確に委託した。		

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	・非構造部材の耐震化状況調査を実施する。 ・砺波南部小・鷹栖小のランチルーム空調設備、トイレ改修工事を完了させる

Action (改善)	来年度 (H26)	・非構造部材の耐震化計画を策定する
	中長期的 (3~5年)	・非構造部材の耐震化を進める
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	・耐震改修事業完了(H27年度)以降の財源の確保

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input checked="" type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>光熱水費に関して、さらにコスト削減に努めることが必要と考えている。各学校で水道や電気の使用量を週1回測定しているが、異常に気付かず対応が遅れる事例がみられる。また、修繕についても人事異動に伴う維持管理の不備がないようマニュアルの整備と徹底を図り、ライフサイクルコストの削減につなげる必要があると考えている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	維持	<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由	<p>管理については、光熱水費等のランニングコストの削減に努められたい。 また、将来的な負担を軽減するために、計画的な修繕や管理を行うためのマニュアルをできるだけ速やかに整備されたい。</p>		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 学校建設室

6-内線 182

Plan (計画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実							
	施策区分	安全で安心な教育環境づくり							
	施策目標	・安全で安心な教育環境を確保するため、学校施設の整備・充実を図る。							
	施策名	学校施設の整備・充実							
	施策の目的	・施設の高寿命化とライフサイクルコストの低減を進める。・施設の高寿命化とライフサイクルコストの低減を進める。							
	H24最終予算額	78,598	千円	H24決算見込額	43,881	千円	H25当初予算額	現年 繰越	50,807 31,650

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	中学校施設管理事業	
	予算科目	10.3.1.4	
	実施状況	燃料費(5,773千円)、電気料(13,482千円)、上水道料(3,133千円)、下水道料(1,888千円)、修繕費(5,613千円)、施設管理委託料(9,407千円)、工事請負費(2,180千円)、施設管理諸費(2,405千円) ※H25へ繰越(庄西中トイレ改修工事 31,650千円)	

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	中学校施設管理事業		
	必要性・妥当性	3	点 3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点 3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	2	点 3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	2	点 3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	10	点 A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	B ・学校施設の修繕を緊急性の高いものから実施するとともに、保守管理業務を的確に委託した。		

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	・非構造部材の耐震化状況調査を実施する。 ・庄西中トイレ改修工事を完了させる

Action (改善)	来年度 (H26)	・非構造部材の耐震化計画を策定する
	中長期的 (3~5年)	・非構造部材の耐震化を進める
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	・耐震改修事業完了(H27年度)以降の財源の確保

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input checked="" type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>光熱水費に関して、さらにコスト削減に努めることが必要と考えている。各学校で上水道や電気の使用量を週1回測定しているが、異常に気付かず対応が遅れる事例がみられる。また、修繕に関しても人事異動に伴う維持管理の不備がないようマニュアルの整備と徹底を図り、ライフサイクルコストの削減につなげる必要があると考えている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	維持	<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由	<p>管理については、光熱水費等のランニングコストの削減に努められたい。 また、将来的な負担を軽減するために、計画的な修繕や管理を行うためのマニュアルをできるだけ速やかに整備されたい。</p>		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 学校建設室

6-内線 182

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実							
	施策区分	安全で安心な教育環境づくり							
	施策目標	・安全で安心な教育環境を確保するため、早急に学校施設の耐震化を完了する。							
	施策名	学校施設の整備・充実							
	施策の目的	・平成27年度末までに市内小中学校の耐震化を完了する。							
	H24最終予算額	294,770	千円	H24決算見込額	52,466	千円	H25当初予算額	現年 繰越	555,653 241,986

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	庄川小学校耐震改修事業費	
	予算科目	10.2.3.1	
	実施状況	・実施設計委託料(52,448千円)、建設事業諸費(18千円) ※H25へ繰越(工事費 241,986千円)	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	庄川小学校耐震改修事業費			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A ・事業推進委員会と調整しながら、実施設計を取りまとめた。 ・国の予算により前倒しで1期工事(普通教室棟改築、特別教室棟耐震補強・改修)を発注した			

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	・1期工事(普通教室棟改築、特別教室棟耐震補強・改修)の進捗

Action (改善)	来年度 (H26)	・1期工事(普通教室棟改築、特別教室棟耐震補強・改修)の完了 ・Ⅱ期工事(体育館耐震補強・改修、特別教室棟耐震補強・改修、ランチルーム棟改築)の完了
	中長期的 (3~5年)	・H27年度にグラウンド改修、外構工事が完了し、全事業が完了する
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	・H25~H27まで庄川小、庄南小、庄東小、出町中(武道館)耐震改修事業が併行する

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>狭隘な敷地における耐震改修事業の実施設計を年度内に完了し、国の補正予算にも対応した。また、周辺道路整備についても関係課と調整し、耐震改修工事の進入路も確保した。</p>		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由		
前年度評価	維持	維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価		
今年度評価 の理由		

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 学校建設室

6-内線 182

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実			
	施策区分	安全で安心な教育環境づくり			
	施策目標	・安全で安心な教育環境を確保するため、早急に学校施設の耐震化を完了する。			
	施策名	学校施設の整備・充実			
	施策の目的	・平成27年度末までに市内小中学校の耐震化を完了する。			
	H24最終予算額	20,906 千円	H24決算見込額	0 千円	H25当初予算額

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	庄南小学校耐震改修事業費	
	予算科目	10.2.3.2	
	実施状況	※H25へ繰越(耐震補強計画・実施設計委託料 20,475千円)	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	庄南小学校耐震改修事業費			
	必要性・妥当性	3 点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。		
	優先性	3 点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)		
	効率性	2 点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)		
	経済性	3 点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。		
	総合評価	4項目合計点数	11 点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下	
	評価の理由等	A			
	評価の理由等	・国の補正予算により前倒しで事業に着手した			

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	・耐震補強計画・実施設計の完了

Action (改善)	来年度 (H26)	・ 耐震改修事業の工事の発注
	中長期的 (3~5年)	・ H27年度末までに全事業が完了する
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	・ H25~H27まで庄川小、庄南小、庄東小、出町中(武道館)耐震改修事業が併行する

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>国の補正予算に対応し、耐震補強計画及び実施設計に着手した。</p>		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	平成24年度から新たに実施した事務事業		
前年度評価		維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 学校建設室

6-内線 182

Plan (計画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実			
	施策区分	安全で安心な教育環境づくり			
	施策目標	・安全で安心な教育環境を確保するため、早急に学校施設の耐震化を完了する。			
	施策名	学校施設の整備・充実			
	施策の目的	・平成27年度末までに市内小中学校の耐震化を完了する。			
	H24最終予算額	21,221 千円	H24決算見込額	0 千円	H25当初予算額

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	庄東小学校耐震改修事業費	
	予算科目	10.2.3.3	
	実施状況	・H25へ繰越(耐震補強計画・実施設計委託料 20,790千円)	

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	庄東小学校耐震改修事業費			
	必要性・妥当性	3 点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。		
	優先性	3 点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)		
	効率性	2 点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)		
	経済性	3 点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。		
	総合評価	4項目合計点数	11 点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下	
	評価の理由等	・国の補正予算により前倒しで事業に着手した			

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	・耐震補強計画・実施設計の完了

Action (改善)	来年度 (H26)	・ 耐震改修事業の工事の発注
	中長期的 (3~5年)	・ H27年度末までに全事業が完了する
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	・ H25~H27まで庄川小、庄南小、庄東小、出町中(武道館)耐震改修事業が併行する

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>国の補正予算に対応し、耐震補強計画及び実施設計に着手した。</p>		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	平成24年度から新たに実施した事務事業		
前年度評価		維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 学校建設室

6-内線 182

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実									
	施策区分	安全で安心な教育環境づくり									
	施策目標	・安全で安心な教育環境を確保するため、早急に学校施設の耐震化を完了する。									
	施策名	学校施設の整備・充実									
	施策の目的	・平成27年度末までに市内小中学校の耐震化を完了する。									
	H24最終予算額	現年 繰越	736,878 872,336	千円 千円	H24決算見込額	現年 繰越	182,857 860,863	千円 千円	H25当初予算額	現年 繰越	203,644 563,728

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	出町中学校耐震改修事業費		
	予算科目	10.3.3.1	10.3.3.9(通次繰越)	
	実施状況	【H24現年】工事請負費(164,910千円)、備品購入費(17,736千円)、建設事業諸費(211千円) ※H25へ繰越(554,021千円) 【H24繰越】工事監理委託料(22,155千円)、工事請負費(838,607千円)、建設事業諸費(101千円) ※H25へ繰越(11,473千円)		

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	出町中学校耐震改修事業費			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A ・国の予算により前倒しで校舎西棟改修工事を発注した ・国の補正予算により前倒しでグラウンド改修事業に着手した			

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	・校舎北棟改築、校舎西棟改修、グラウンド改修工事の完了 ・武道館耐震診断の完了

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> 外構、仮設校舎解体、テニスコート整備等工事の完了 武道館補強計画・実施設計の完了
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> H27年度に武道館耐震補強・改修工事完了により全事業完了
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> H25~H27まで庄川小、庄南小、庄東小、出町中(武道館)耐震改修事業が併行する

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 効率化 (費用対効果の改善を行う) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、又は廃止する)	<input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>国の補正予算に対応し、耐震補強計画及び実施設計に着手した。</p>

■二次評価 (ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策 (所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 155

6-

P l a n (計 画)	主要施策名	個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実						
	施策区分	安全で安心な教育環境づくり						
	施策目標	遠距離通学児童の利便及び登下校時の安全確保を図る。また、学校・保育所の校外学習への利用推進を図り円滑な学習活動に資する。						
	施策名	子どもの安全確保						
	施策の目的	庄東小、庄川小児童を対象に遠距離通学児童の利便を図るとともに、登下校時の安全確保を図る。						
	H24最終予算額	12,742	千円	H24決算見込額	12,086	千円	H25当初予算額	31,637

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	スクールバス運行事業①（経常的経費）					
	予算科目	10.2.1.3					
	実施状況	運行委託料 燃料費 修繕費					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	スクールバス運行事業①（経常的経費）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
	評価の理由等						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	校外活動においては、燃費の良い庄川中型、マイクロバスを優先利用することで、燃料費の削減を目指す。

Action (改善)	来年度 (H26)	運行業務委託契約を複数年契約とすることで、単年度契約よりも費用を削減し、経験を得ることにより安全な運行を目指す。
	中長期的 (3~5年)	燃費の良いバスの活用と、複数年契約で予算の削減を目指す。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	支出額を抑えても、安全性に影響が生じないように、契約時に詳細な仕様の作成に努める。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 校外学習等学校行事や教育委員会主催事業への利用等効率的な利用を図っている。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 162

P l a n (計 画)	主要施策名	人間力を高める人づくりの推進						
	施策区分	活力ある健康な青少年の育成の推進						
	施策目標	青少年指導者及び地域指導者を対象に、青少年の健全育成のための効率的効果的な施策を検討し、実行することを目標とする。青少年や女性の社会参画を促し、家庭・地域・学校・行政が連携することができる教育を進め、良好な地域コミュニティづくりに資する。						
	施策名	家庭・地域・学校・行政が連携する教育の推進						
	施策の目的	青少年の健全育成に向け、青少年育成砺波市民会議などの関係団体や地域推進員等と連携し、非行防止活動を具体的に推進する。 青少年の健全な育成と社会活動活性化の牽引者となるリーダー養成に努める。						
	H24最終予算額	245	千円	H24決算見込額	245	千円	H25当初予算額	245

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	青少年対策事業（青少年健全育成啓発事業等）					
	予算科目	2.1.12.1					
	実施状況	青少年育成地域推進員活動謝礼		150千円	(30人×5000円/年)		
		砺波市青少年健全育成大会講師謝礼		30千円			
		青少年育成砺波市民会議運営補助		54千円			

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	青少年対策事業（青少年健全育成啓発事業等）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
	評価の理由等	青少年地域推進員（委嘱・任期2年）の自主的な活動に支えられている。砺波市PTA連絡協議会などと協力して青少年健全育成大会を開催するなど、地域との連携を図っている。					

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	砺波東部小学校において「地球のステージ」、12/1の青少年健全育成大会では、砺波市PTA連絡協議会のほか、砺波人権擁護委員連絡協議会とも協力して大会を開催予定

Action (改善)	来年度 (H26)	市民の関心が薄れないよう、通年で効果的な活動が行えるような積極的な取り組みの検討が必要。
	中長期的 (3~5年)	地道な活動のため、スポットを浴びる事が少なく、また類似活動も多い。事業がマンネリ化しない工夫が必要と考える。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	各種団体が、独自の活動をそれぞれ計画し実施している。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 継続性が必要であり、重要な事業と考えている。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 162

P l a n (計 画)	主要施策名	人間力を高める人づくりの推進						
	施策区分	活力ある健康な青少年の育成の推進						
	施策目標	青少年や女性の社会参画を促し、家庭・地域・学校・行政が連携することができる教育を進め、良好な地域コミュニティづくりに資する。						
	施策名	家庭・地域・学校・行政が連携する教育の推進						
	施策の目的	青少年の健全な育成と社会活動活性化の牽引者となるリーダー養成に努める。						
	H24最終予算額	6,300	千円	H24決算見込額	6,060	千円	H25当初予算額	2,060

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	青少年女性育成事業					
	予算科目	10.5.1.3					
	実施状況	青年リーダー研修事業	239千円	KIRAKIRAミッション事業委託	4,500千円		
		女性リーダー養成事業	461千円	各種団体活動補助	647千円		
	チューリップフェア写生大会及び写生画展	213千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	青少年女性育成事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点:市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点:今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点:できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点:実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点:実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点:実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点:実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点:安い経費で実施した。 2点:ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点:経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価:12点~11点、B評価:10点~9点、C評価:8点以下		
			B				
評価の理由等	女性・青年団体の活動支援を行い、特に女性団体及びとなみ元気道場には、市政の参画を促した。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 各種団体活動補助金について、対象団体の活動及び内容について精査し、適正に補助金支払いを執行するよう指導するとともに、事業の活性化について検討すること。
	前年度二次評価に対する改善策	各種団体運営補助金については、団体運営補助金の適正化制度により補助金額の適正化を図った。 また、女性・青年団体の組織の定着が図られるよう活動を支援する。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	補助金の減額等適正化を図った。 地域の婦人会活動については、担い手の減少など歯止めが効かない状況であり、地元自治振興会でも婦人会に代わる組織作りなど手さぐりの状況である。
	今年度(H25)	各種団体補助において引き続き適正化を図る。 女性の婦人会離れが起きており、歯止め対策等について、連合婦人会などと協議する。 となみ元気道場の組織拡大。 女性議会の共催とともに、運営方法について女性団体連絡協議会と検討する。

Action (改善)	来年度 (H26)	女性団体への支援の継続。 青年層が参加意識を持てる事業の発掘が必要。
	中長期的 (3~5年)	現状の女性団体離れが進んでいるので、市の対応策も検討する必要がある。 また、青年層が地域活動へ参加し、地域活動のリーダー的な役割を担うことができる将来の担い手を育成する。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	年代ごとに考え方にギャップがあり、統一した施策で対応するのは難しい。 若者や女性層でもそれぞれ考え方が違い、行政側も先進地に学ぶなど、モデルとなるイメージ作りや一層の工夫が必要となる。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input checked="" type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 各種団体補助金において引き続き、活動規模・内容に応じた補助金額の精査が必要である。 女性の婦人会離れが進んでいることから、女性団体への一層の指導及び支援が必要である。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	改善	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	改善		
今年度評価 の理由	特に女性の公共的団体活動離れが進んでいることから、関係団体と十分に連携を図り、地域づくりに欠かせない組織育成の支援等を図ること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	砺波市連合婦人会や女性団体連絡協議会等と連絡を密にし、更なる活動支援に努めたい。
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：

こども課

児童家庭係 内線 371

P l a n (計 画)	主要施策名	人間力を高める人づくりの推進						
	施策区分	活力ある健康な青少年の育成の推進						
	施策目標	健全な青少年の育成の場を確保できるよう支援に努めるもの。						
	施策名	家庭・地域・学校・行政が連携する教育の推進						
	施策の目的	児童クラブや子どもたちが参加する地域の行事を開催する場所として活用できるように管理運営費を補助するもの。						
	H24最終予算額	400	千円	H24決算見込額	400	千円	H25当初予算額	350

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	野外児童センター管理運営事業	
	予算科目	3.2.1.5	
	実施状況	野外児童センター管理運営補助金（400千円）	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	野外児童センター管理運営事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			A		
評価の理由等	子どもたちの健全な活動のために活用できる施設として必要である。				

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	継続して予算を確保し、PRに努める

Action (改善)	来年度 (H26)	継続して予算を確保し、PRに努める
	中長期的 (3~5年)	施設の老朽化に伴い維持管理費がかさむことが予想されるため、補助金の増額も検討課題と思われる。 (建設年度 昭和57年5月)
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	強風などによる大きな被害があった場合は、緊急な予算(補正)対応が求められる場合が考えられる。 社会福祉協議会との協議が必要である。

■所属長評価

施策としての総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/> 効率化 (費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>冬季の小学校スキー教室の拠点としてよく機能しており、安定した利用人数となっている。 秋のコスモスウォッチングにも大勢の利用があるが、この場所だけでは活用用途が少なく春夏のイベントがあれば、更に利用者が増えると見込まれる。</p>

■二次評価 (ワーキンググループにて記載)

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業	
前年度評価	維持	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	維持	
今年度評価の理由		

■二次評価に対する改善策 (所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課 学務係 内線 154 6-

P l a n (計 画)	主要施策名	人間力を高める人づくりの推進						
	施策区分	活力ある健康な青少年の育成の推進						
	施策目標	成長期にある中学生が社会性、規範意識等を身につけ、豊かな心や忍耐する態度を育むことを目標とする。						
	施策名	家庭・地域・学校・行政が連携する教育の推進						
	施策の目的	専門的な指導力を持つ指導者を中学校へ派遣し、活動内容の充実と強化を図る。						
	H24最終予算額	2,817	千円	H24決算見込額	2,609	千円	H25当初予算額	2,800

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	部活動推進事業					
	予算科目	10.3.2.6					
	実施状況	指導者謝金					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	部活動推進事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	専門的な技術指導力を有する指導者を、中学校に派遣し、教職員の指導力不足を解消するとともに、より充実した部活動を実現している。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	これまで定額72,000円(年額)としていたものを、昨年度から実績に応じて(上限付き)謝金を支払うこととした。これにより、昨年度は約198,000円を削減した。本年度も同様の対応により実施していくもの。

Action (改善)	来年度 (H26)	謝金の支払対象としている回数を引き上げ、派遣回数に応じた謝金を支払えるようにする。これにより、スポーツエキスパートのモチベーションを上げる。
	中長期的 (3~5年)	実績に応じて謝金を支払うとともに、謝金の支払上限金額の引き上げを検討する。もって、さらなる部活動強化を図る。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	謝金支払の上限回数の引き上げは、謝金支払額の増加を意味する。それを、派遣実績に応じて謝金を支払う方式を採用することで、財政負担を最小限に抑える。適正な予算の執行を行う。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 各種競技協会の協力を得て、中学校部活動への、指導者派遣を円滑に行い、教職員と共に指導の充実に努めた。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 教育総務課

学務係 内線 154

6-

P l a n (計 画)	主要施策名	人間力を高める人づくりの推進						
	施策区分	活力ある健康な青少年の育成の推進						
	施策目標	成長期にある中学生が社会性、規範意識等を身につけ、豊かな心や忍耐する態度を育むことを目標とする。						
	施策名	家庭・地域・学校・行政が連携する教育の推進						
	施策の目的	学校、家庭、地域が連携して、中学生に社会性、規範意識、忍耐性を中心に自己を見つめ、自己改革に挑戦し、活力ある健康な青少年を育成する。						
	H24最終予算額	1,800	千円	H24決算見込額	1,307	千円	H25当初予算額	1,887

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	14歳の挑戦事業					
	予算科目	10.3.2.7					
	実施状況	指導者謝金 保険料					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	14歳の挑戦事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	学校、家庭、地域が連携して、中学生に規範意識や社会性を身につけさせ、何事にも挑戦する機会を与えている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	引き受けてもらう事業所の増加を図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	事業の趣旨を理解していただくことで、事業所の増加を図るとともに、謝金の辞退にも協力してもらおう。
	中長期的 (3~5年)	これまで、引き受けてもらっていなかったジャンルの事業所にも積極的に受入れを依頼し、時代の変化にも対応していく。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	時代の変化とともに、生徒の希望も変化すると解されることから、それに応じた受け入れ先を開拓することで、事業の充実を図る。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>生徒の社会性や規範意識の向上等に成果が上がっている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 162

P l a n (計 画)	主要施策名	人間力を高める人づくりの推進						
	施策区分	活力ある健康な青少年の育成の推進						
	施策目標	子どもを安心して生み育てる環境を整え、地域の方々に子ども教室のアドバイザーとして活躍していただくことで、地域とつながりをもった遊びや学習の場とする						
	施策名	家庭・地域・学校・行政が連携する教育の推進						
	施策の目的	少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て機能・教育力の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援すること						
	H24最終予算額	7,896	千円	H24決算見込額	6,550	千円	H25当初予算額	7,896

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	放課後子ども教室推進事業					
	予算科目	10.5.1.4					
	実施状況	放課後子どもプラン運営委員会 40千円 事務費26千円 放課後子ども教室開設委託 6,144千円(14団体) コーディネーター謝金 340千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	放課後子ども教室推進事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点:市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点:今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点:できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点:実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点:実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点:実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点:実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点:安い経費で実施した。 2点:ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点:経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価:12点~11点、B評価:10点~9点、C評価:8点以下		
			A				
評価の理由等	放課後子ども教室は、国1/3、県1/3、市1/3の補助事業 年々、実施団体は減少している。24年度14団体 25年度12団体 放課後や土日の子ども達の居場所作りや地域との交流として有効であり、子供の施策として重要である。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 こども課で事業実施する放課後児童クラブ事業との整合性を検討すること。 また、事業の実施方法について適当であるか検討すること。 ※土・日に地域や児童を対象に事業を実施することなど。					
	前年度二次評価に対する改善策	本事業の目的は「放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちの勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を推進する」とあり、放課後の子どもの居場所対策としては児童クラブと共通しているが、「児童クラブ」と「こども教室」の事業内容の相違を明確にし、重複しない事業展開に努める。 また、土・日の実施については、放課後子どもプラン運営委員会に諮り検討したい。					
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	国段階で、文部科学省と厚生労働省の実施事業であり、連携実施のため放課後子どもプラン運営委員会の設置を行っている。しかし、実施主体は委託先の子ども教室であり、定着した活動の変更は難しい。また、色々な制約をつけると実施団体そのものが、受託をあきらめて事業そのものが成り立たなくなるなど難しい状況である。					
	今年度(H25)	25年度より、2団体が受託を辞退した。そのため、12団体となり、子ども教室が無い地区も多い。子どもを集団で遊び、学び、地域活動する機会は失われつつあり、子供を預けたい要望はあるので、引き続き教室が維持出来るよう助言・指導していきたい。25年度の放課後子どもプラン運営委員会の運営方法について、見直しを図りたい。					

Action (改善)	来年度 (H26)	事業継続する。教室が維持出来るよう、助言・指導していきたい。
	中長期的 (3~5年)	放課後子どもプラン運営委員会の機能を見直し、放課後児童クラブと重複しないようこども課と連携を図る。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	事業者として、委託金の受け取りから、企画やボランティアの調整はコーディネーターや指導員の事務となっている。 優秀なコーディネーター等を育てることが事業継続に必要となる。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 国・県の補助目的に応じて事業を実施しており、放課後児童クラブの運営目的と調整を図りながら、現行制度がある限り実施することとする。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業		
前年度評価	改善	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 162

P l a n (計 画)	主要施策名	人間力を高める人づくりの推進						
	施策区分	活力ある健康な青少年の育成の推進						
	施策目標	人生を心豊かに送るために、多様化する市民の生涯学習ニーズに対応し、主体的、創造的な学習活動を支援する。						
	施策名	青少年活動の機会の提供						
	施策の目的	若者を中心とした利用を優先し、青年活動の活性化を図る。						
	H24最終予算額	500	千円	H24決算見込額	371	千円	H25当初予算額	500

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	庄川若者の館管理運営事業					
	予算科目	10.5.1.5					
	実施状況	若者の館 維持管理費 371千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	庄川若者の館管理運営事業					
	必要性・妥当性	2	点	3点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点:市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点:今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点:できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点:実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点:実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点:実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点:実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	2	点	3点:安い経費で実施した。 2点:ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点:経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	8	点	A評価:12点~11点、B評価:10点~9点、C評価:8点以下		
			C				
評価の理由等	有料化により利用者が減少しているが、若者達のコミュニティと定住化促進のために必要な施設であるので、今後の利用について検討する。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	行政改革市民会議専門部会で今後の運営について検討予定。

Action (改善)	来年度 (H26)	検討中
	中長期的 (3~5年)	施設利用について検討を要する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	廃止や、用途変更には地元の理解が必要。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input checked="" type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 利用状況等により、施設としては必要ない。しかし、若者たちの交流の場として何らかの拠点施設は必要と考える。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	維持		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	廃止・休止		
今年度評価 の理由	類似施設が付近に設置されていることに加え、利用者が限定されていること等から、公の施設としては廃止を検討すること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	行政改革市民会議専門部会において調査及び審議を行っているところであり、その報告を待って廃止等を検討したい。
---------------------	---

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 162

P l a n (計 画)	主要施策名	自由に楽しく学ぶ生涯学習の推進						
	施策区分	生涯学習の充実						
	施策目標	人生を心豊かに送るために、多様化する市民の生涯学習ニーズに対応し、主体的、創造的な学習活動を支援する。						
	施策名	地域を学ぶ機会の充実						
	施策の目的	市民が地域文化の学習を通して、地域を愛し、地域に誇りを持てるよう地域に根ざした公民館活動や生涯学習活動の充実を図ります。						
	H24最終予算額	4,506	千円	H24決算見込額	4,326	千円	H25当初予算額	2,139

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	公民館活動振興事業					
	予算科目	10.5.2.1					
	実施状況	公民館指導員賃金 3,456千円 公民館研究大会・職員研修 598千円 市公連運営補助 734千円 県公連補助 235千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	公民館活動振興事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	各公民館で、主体的に活動を実施しており、砺波市における生涯学習の一翼を担っている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	継続事業 公民館指導員2名から1名とする。

Action (改善)	来年度 (H26)	継続事業
	中長期的 (3~5年)	公民館長、公民館専任主事の資質向上を図る。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 経常的な事業であり、必要不可欠な事業として考えている。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 162

P l a n (計 画)	主要施策名	自由に楽しく学ぶ生涯学習の推進						
	施策区分	生涯学習の充実						
	施策目標	人生を心豊かに送るために、多様化する市民の生涯学習ニーズに対応し、主体的、創造的な学習活動を支援する。						
	施策名	地域を学ぶ機会の充実						
	施策の目的	市民が地域文化の学習を通して、地域を愛し、地域に誇りを持てるよう地域に根ざした公民館活動や生涯学習活動の充実を図ります。						
	H24最終予算額	38,800	千円	H24決算見込額	38,329	千円	H25当初予算額	41,160

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	地区公民館活動事業													
	予算科目	10.5.2.2													
	実施状況	公民館長報酬	1,848	千円	公民館主事報償費	18,396	千円	公民館総合補償保険	231	千円	地区公民館活動運営業務委託	17,313	千円	修繕等 五鹿屋、高池	538

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	地区公民館活動事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下			
			A					
評価の理由等	各公民館で、主体的に活動を実施しており、砺波市における生涯学習の一翼を担っている。							

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	継続事業

Action (改善)	来年度 (H26)	公民館長、公民館専任主事の資質向上を図る。
	中長期的 (3~5年)	公民館同士の情報交換も活発であり、このまま継続していきたい。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 地域振興に寄与するとともに地域住民のコミュニティ発展のためにも公民館事業は重要であると考えている。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 162

P l a n (計 画)	主要施策名	自由に楽しく学ぶ生涯学習の推進						
	施策区分	生涯学習の充実						
	施策目標	人生を心豊かに送るために、多様化する市民の生涯学習ニーズに対応し、主体的、創造的な学習活動を支援する。						
	施策名	地域を学ぶ機会の充実						
	施策の目的	市民が地域文化の学習を通して、地域を愛し、地域に誇りを持てるよう地域に根ざした公民館活動や生涯学習活動の充実を図ります。						
	H24最終予算額	175	千円	H24決算見込額	101	千円	H25当初予算額	160

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	生涯学習推進事業					
	予算科目	10.5.2.3					
	実施状況	市民大学	101千円				

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	生涯学習推進事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点:市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点:今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点:できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点:実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点:実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点:実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点:実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点:安い経費で実施した。 2点:ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点:経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価:12点~11点、B評価:10点~9点、C評価:8点以下		
			A				
評価の理由等	市民大学の面白い講座のみを受講し、全講座を履修しない傾向が見受けられるので、今後の講座内容や回数などを検討する必要がある。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由						
	前年度二次評価に対する改善策						
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況						
	今年度(H25)	5月~11月	市民大学を開講。	31人受講	11講座予定		

Action (改善)	来年度 (H26)	市民大学は継続実施。
	中長期的 (3~5年)	講座の募集方法や、講座回数を検討する
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	新たな講師の発掘が必要。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 小額な予算の範囲内で効果的な事業が展開できている。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 162

P l a n (計 画)	主要施策名	自由に楽しく学ぶ生涯学習の推進						
	施策区分	生涯学習の充実						
	施策目標	人生を心豊かに送るために、多様化する市民の生涯学習ニーズに対応し、主体的、創造的な学習活動を支援する。						
	施策名	学びを活かす仕組みづくり						
	施策の目的	地域を知り、学び、地域に誇りを持つ人づくり。 地域コミュニケーションの活性化を図る。						
	H24最終予算額	137,175	千円	H24決算見込額	136,233	千円	H25当初予算額	134,542

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	社会教育推進事業					
	予算科目	10.5.1.2					
	実施状況	社会教育指導員報酬 2,304千円(2人) 成人式開催費 915千円 実行委員会委員40人×2000円 社会教育委員報酬他 277千円(12人) 視聴覚教育協議会負担金 590千円 砺波市指定管理施設事業補助金 131,603千円(文化振興会)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	社会教育推進事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点:市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点:今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点:できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点:実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点:実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点:実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点:実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点:安い経費で実施した。 2点:ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点:経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価:12点~11点、B評価:10点~9点、C評価:8点以下		
			A				
評価の理由等	社会教育の基本事業であり、今後も継続して推進する。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	平成23年度より、文化振興会の市派遣職員人件費分を補助金で支出している。

Action (改善)	来年度 (H26)	継続実施
	中長期的 (3~5年)	成人式実行委員会の委員を各地区から推薦を頂いて、式典等を挙行しているが年々、推薦者人数の掌握に困難な状況であり、組織体制の検討を要する。 成人式記念品の必要性や品目について検討。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 経常的な重要な事業として考えている。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 勤労青少年ホーム

内線

P l a n (計 画)	主要施策名	自由に楽しく学ぶ生涯学習の推進						
	施策区分	生涯学習の充実						
	施策目標	概ね、18～35歳の勤労青少年が充実した職業生活を送ることができるよう支援する。						
	施策名	交流を通じた学習の推進						
	施策の目的	概ね、18～35歳の勤労青少年が充実した職業生活を送ることができるための教養講座を開催し、勤労青少年の健全な育成と福祉の推進に寄与する。						
	H24最終予算額	1,964	千円	H24決算見込額	1,646	千円	H25当初予算額	1,900

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	勤労青少年ホーム教室開設事業					
	予算科目	5.1.2.3					
	実施状況	長期講座7講座、短期講座2講座 講座登録者数 男41人、女145人、計186人 延講座利用者数 2,393人					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	勤労青少年ホーム教室開設事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	若者支援施設としての役割は大きい。 ただし、受講者数が減少傾向であり、利用者等からの意見を参考に若者のニーズにあった講座を開講する必要がある。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> 若者に施設の存在をより知っていただくため、PRの強化を図る。 募集定員に満たない講座について利用促進を図る。（若者のニーズにあった講座、友の会イベント等の開催）

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> 若者に施設の存在をより知っていただくため、PRの強化を図る。 募集定員に満たない講座について利用促進を図る。 (若者のニーズにあった講座、友の会イベント等の開催)
	中長期的 (3~5年)	砺波まなび交流館との統合を念頭に、若者のニーズにあった講座を開催。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	<ul style="list-style-type: none"> 民間において実施している内容と競合しないこと。 施設の老朽化

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input checked="" type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input checked="" type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>施設の老朽化等もあり、特に若者の利用者数が減少傾向にあります。隣接の砺波まなび交流館との統合し、効率化を図った上で魅力ある講座を開設していくべきと考える。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	改善		
今年度評価 の理由	講座受講者数の減少を踏まえ、砺波まなび交流館が開設する講座との統合等を検討すること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	砺波まなび交流館が開設する講座との統合に向けて検討していきたい。
---------------------	----------------------------------

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 162

P l a n (計 画)	主要施策名	自由に楽しく学ぶ生涯学習の推進						
	施策区分	生涯学習環境の充実						
	施策目標	人生を心豊かに送るために、多様化する市民の生涯学習ニーズに対応し、主体的、創造的な学習活動を支援する。						
	施策名	生涯学習施設の整備・充実						
	施策の目的	施設間の連携を図り、生涯学習活動を支援できる施設整備を行う。						
	H24最終予算額	1,671	千円	H24決算見込額	1,620	千円	H25当初予算額	1,671

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	生涯学習施設管理運営事業（出町ふれあいセンター）					
	予算科目	10.5.1.6					
	実施状況	維持管理 1671千円 臨時職員 1名 警備保障委託、上下水道料、電気代、CATV料金等 (出町自治振興会賃借料120千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	生涯学習施設管理運営事業（出町ふれあいセンター）						
	必要性・妥当性	2	点	3点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点:市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	2	点	3点:今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点:できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点:実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	2	点	3点:実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点:実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点:実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	2	点	3点:安い経費で実施した。 2点:ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点:経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	8	点	A評価:12点~11点、B評価:10点~9点、C評価:8点以下			
	評価の理由等	C 地元団体（出町自治振興会、公民館、子ども教室、地元自治会等）の利用率は高いが、特定の団体に偏っている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 出町ふれあいセンターについて、現在は出町自治振興会が使用しており、他の自治振興会事務所の維持管理経費と均衡を逸することのないよう検討すること。 また、普通財産について、行政目的で使用することは問題であると考えられることから、適正な対応を検討されたい。
	前年度二次評価に対する改善策	出町ふれあいセンターについては、普通財産でありながら生涯学習・スポーツ課所管の生涯学習施設として利用しており、その事務所の一部を有償で出町自治振興会と出町公民館に貸与している状況であるため、適正な運用となるよう検討する。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	出町自治振興会からは、維持管理経費分として負担金をいただいている。出町ふれあいセンターについては、文教ゾーン施設整備とともに廃止検討。
	今年度(H25)	出町ふれあいセンターについて、出町自治振興会から維持管理経費分として負担金をいただく。 また廃止については、文教ゾーン施設整備とともに検討。

Action (改善)	来年度 (H26)	文教ゾーン整備の中で、施設廃止方向で検討。
	中長期的 (3~5年)	
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	出町自治振興会、出町公民館との調整

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input checked="" type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 文教ゾーン施設の整備と併せて、廃止に向けて検討する。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	改善	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの	
今年度評価	廃止・休止	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価 の理由	非耐震化施設であり、老朽化も著しいことから、文教ゾーン施設の整備と併せて、取り壊しを検討すること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	文教ゾーン施設の整備と併せて、取り壊し等を検討する。
---------------------	----------------------------

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 162

P l a n (計 画)	主要施策名	自由に楽しく学ぶ生涯学習の推進						
	施策区分	生涯学習環境の充実						
	施策目標	人生を心豊かに送るために、多様化する市民の生涯学習ニーズに対応し、主体的、創造的な学習活動を支援する。						
	施策名	生涯学習施設の整備・充実						
	施策の目的	施設間の連携を図り、生涯学習活動を支援できる施設整備を行う。						
	H24最終予算額	12,330	千円	H24決算見込額	12,330	千円	H25当初予算額	12,026

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	庄川生涯学習センター管理運営事業					
	予算科目	10.5.1.6					
	実施状況	指定管理料 12,330千円 文化振興会					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	庄川生涯学習センター管理運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点:市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点:今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点:できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点:実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点:実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点:実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点:実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点:安い経費で実施した。 2点:ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点:経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価:12点~11点、B評価:10点~9点、C評価:8点以下		
			A				
評価の理由等	教育関係をはじめとして各種団体などの講演会や芸能発表などに施設を有効活用していただいている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	指定管理内容の見直しにより、指定管理料を削減。 指定管理の終了年であり、新たに指定管理者の公募が必要となる。

Action (改善)	来年度 (H26)	利用率の向上と、利用料収入の拡大を図るよう、指定管理団体へ要望。
	中長期的 (3~5年)	老朽化による補修工事が必要となる。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>各種団体等の利用率が高いことから今後も最低限、現状維持が必要と考えている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 勤労青少年ホーム

内線

P l a n (計 画)	主要施策名	自由に楽しく学ぶ生涯学習の推進						
	施策区分	生涯学習環境の充実						
	施策目標	施設を整備し、施設環境の充実を図る。						
	施策名	生涯学習施設の整備・充実						
	施策の目的	施設利用者の利用しやすい環境づくり。						
	H24最終予算額	6,794	千円	H24決算見込額	6,556	千円	H25当初予算額	7,872

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	勤労青少年ホーム管理運営事業					
	予算科目	5.1.2.2					
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託職員賃金、臨時職員賃金、施設維持管理費 ・若者を中心としたサークル活動等に利用していただいている。 					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	勤労青少年ホーム管理運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			B				
評価の理由等	若者支援として重要な施設であるが、砺波まなび交流館との統合も視野に入れ、今後の運営計画を検討していきたい。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> ・となみ野サロンの廃止に伴い、一部のサークル活動受け入れを行った。 ・また、開館時間を9時～21時に変更した。

Action (改善)	来年度 (H26)	今年度と同様の運営を予定
	中長期的 (3~5年)	施設の老朽化に伴い、修繕を要する箇所が次々に発生しており、砺波まなび交流館との統合を念頭に必要な箇所のみ修繕し運営を続けたい。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	利用者の理解（費用面等）と周知を図る

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input checked="" type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input checked="" type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>施設の老朽化が著しいことから、世代間交流を図ることも視野に入れ、砺波まなび交流館への移行を踏まえ、廃止に向けて検討する。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由	今後予想される施設の老朽化を踏まえ、砺波まなび交流館が開設する講座との統合を段階的に実施するよう検討されたい。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 砺波図書館・庄川図書館 内線

P l a n (計 画)	主要施策名	自由に楽しく学ぶ生涯学習の推進						
	施策区分	生涯学習環境の充実						
	施策目標	乳幼児から高齢者まであらゆる世代が集まり訪れる地域の情報拠点として、地域の資料を収集保存し活用する施設として、市民の生涯学習を支援する						
	施策名	図書館機能の充実						
	施策の目的	貸出サービス 予約サービス 調査・読書相談 配本サービス 第二次砺波市子ども読書活動推進計画作成						
	H24最終予算額	21,428	千円	H24決算見込額	20,010	千円	H25当初予算額	20,768

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	図書館運営活動事業					
	予算科目	10.5.4.3					
	実施状況	図書購入費 10,000千円(2,300千円) ()は庄川 雑誌・新聞等購入費 1,434千円(595千円) 図書館システム賃借・委託・保守料 3,256千円 富山県図書館協会ナビゲーション事業 講座開催 100千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	図書館運営活動事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
	評価の理由等	A ・「砺波市子ども読書活動推進計画第二次」を策定した ・図書館システムの更新を4ヵ月延期し、使用料および賃借料を削減した ・書誌データをマーク購入からオンラインの使用契約に変え、即時に利用者への情報提供が可能になった。					

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	・新図書館建設に向けて来館者アンケートの実施と先進図書館視察 ・地域文庫謝礼廃止 5,000円×8箇所 ・対象年齢を分けた読み聞かせ「えほんのじかん」の定期的な開催 ・書架整理、督促を行い、資料の新鮮度・更新率を上げて利用拡大に努める

Action (改善)	来年度 (H26)	新図書館建設については、どんなサービスが提供できるかが求められているかを把握し、新図書館の方向性を定め、整備方針・施設計画について提言する またデジタル資料も含めた新図書館の蔵書の構築を体系的に図る
	中長期的 (3~5年)	庄川図書館 「住民生活に光をそそぐ交付金」により「課題解決支援サービス」をはじめたが、広くは認知されていないが若干の好転はある 今後も資料の充実をはかって利用につなげる
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input checked="" type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 ・砺波市子ども読書活動推進計画（第二次）策定により、平成29年度までの5年間の支援体制が整った。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 砺波図書館・庄川図書館 内線

P l a n (計 画)	主要施策名	自由に楽しく学ぶ生涯学習の推進						
	施策区分	生涯学習環境の充実						
	施策目標	・ 図書館情報システム更新 館内OPACリニューアルにより蔵書検索のほか、行事案内、利用者ベストリーダーなどの検索システムの提供						
	施策名	図書館機能の充実						
	施策の目的	利用者の声を反映し利用者によって支えられる地域に根ざす図書館						
	H24最終予算額	19,787	千円	H24決算見込額	18,246	千円	H25当初予算額	18,301

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	図書館管理事業					
	予算科目	10.5.4.2					
	実施状況	緊急雇用重点分野創出事業による地域資料のデータ化整理事業 2,102千円 (砺波：公民館報 進捗率 100% 庄川：庄川町史掲載写真資料 進捗率 100% 古文書 進捗率 70%)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	図書館管理事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
	評価の理由等	資料の散逸を防ぎ、永年保存とするため逐次刊行物は製本し、簡易に利用者に提供できるようになった。 写真のデータ化は「砺波正倉」に参画し、インターネットを通じて広く閲覧が可能になった。					

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 庄川図書館の開館時間は、金曜日に午後8時まで延長(砺波図書館に開館時間の延長はなく午後6時30分まで開館)しているが、利用状況等の現状調査のうえ、砺波図書館と開館時間をあわせた場合の効果について検討すること。
	前年度二次評価に対する改善策	開館時間について、時間別利用状況等の現状調査を行い、他市町の動向を参考に検討する。 また、砺波図書館と庄川図書館の開館時間をあわせた場合を試行し、その試行期間中の実態調査等を計画し、利用者の利便性の向上をはかる。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	現在も利用状況調査中。平成24年度からの調査であり、平成23年度との比較は出来ない。 ただ、平成24年度(金曜日、午後6時30分以降)の利用状況は、平均で21.1人/日【冬季12月から2月の平均は14人/日】。県内公立図書館59館の内、13館が午後7時以降も開館している(内、午後8時以降も開館しているのは2館)。新図書館建設に向け、開館時間の調整を図る。
	今年度(H25)	砺波：外部非常階段手摺等塗装工事 庄川：児童室カーペット貼替

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費の節約 ・集会室/障子張替 視聴覚室/暗幕修繕
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・砺波：館内外の清潔の維持 ・庄川：生涯学習センターとの併設であることから、駐車場や空調設備等の使用についてトラブルにならないよう施設の行事日程を把握する。 ・地域資料のデータ化整理事業
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因と その解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<ul style="list-style-type: none"> ■ 重点化（コストを集中的に投入する） ■ 効率化（費用対効果の改善を行う） <input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>・永年保存逐次刊行物資料の保存管理（データ化を含む）を徹底し、図書館利用者に提供した。現状での旧砺波市分は完了し、旧庄川町分は古文書約70%完了した。ただし、データ化できる資料（砺波市を含む県内郷土資料及び定点観測写真等）については、旧砺波市及び庄川町分には整理からはじめる大量の資料が保管されており、今後継続してデータ化することについて検討を要する。（平成25年度予定無し）</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業	
前年度評価	改善	<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>
今年度評価	改善	
今年度評価 の理由	庄川図書館の開館時間（金曜日午後8時までの延長開館）の特例については、利用実績もあり継続するが、新図書館の建設時に改めて検討すること。 また、資料整理については、計画的に進めることとし、早期完了に努めること。	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	庄川図書館の開館時間については、当分の間、現在のままとし、新図書館の建設時に改めて、砺波市立図書館（砺波・庄川）の開館時間について検討する。 また、未整理の郷土資料については、計画的に整理・データ化し、早期に検索利用できるよう努める。
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係 内線 162

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	芸術・文化活動の振興						
	施策目標	人生を心豊かに送るために、多様化する市民の生涯学習ニーズに対応し、主体的、創造的な学習活動を支援する。						
	施策名	芸術・文化活動への支援						
	施策の目的	施設間の連携を図り、生涯学習活動を支援できる施設整備を行う。						
	H24最終予算額	1,066	千円	H24決算見込額	1,066	千円	H25当初予算額	845

平成24年度事務事業の実施状況

D (実 施)	事業名	庄川まちかどギャラリー蔵管理運営事業					
	予算科目	10.5.1.5					
	実施状況	指定管理料 1,066千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	庄川まちかどギャラリー蔵管理運営事業						
	必要性・妥当性	2	点	3点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点:市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点:市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。				
	優先性	2	点	3点:今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点:できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点:実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)				
	効率性	2	点	3点:実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点:実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点:実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)				
	経済性	2	点	3点:安い経費で実施した。 2点:ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点:経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	8	点	A評価:12点~11点、B評価:10点~9点、C評価:8点以下 C			
	評価の理由等	世話人の努力により、年数回の個展等が開かれているが、庄川美術館もあることから施設の運用形態を見直す必要がある。庄川市街地のにぎわい創造のため、現在の画廊としての事業形態を廃止し、他の利用形態への転換が必要と考える。維持管理も年間110万かかることから、有効活用が必要である。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【廃止・休止】 類似施設との統合により廃止すること。
	前年度二次評価に対する改善策	類似施設との統合等による廃止及びその後の施設の利用について検討する。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	行政改革専門部会による、施設廃止の検討。
	今年度(H25)	行政改革市民会議専門部会の「類似施設の統廃合」の議題として検討。 庄川美術館でも美術展示等を行っていることから、ギャラリー蔵の事業を美術館に統合し、現行施設の廃止を検討する。 また統合後の施設利用について、地元と有効活用に向けた協議が必要となる。

Action (改善)	来年度 (H26)	廃止予定
	中長期的 (3~5年)	
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input checked="" type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>類似施設が近隣にもあることから、施設の有効活用を図っていく上で、統合に向けての検討が必要と考えている。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	廃止・休止	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	廃止・休止		
今年度評価 の理由	展示等に使用できる施設が付近に設置されていることに加え、利用者も限定されていることから、公の施設としては廃止を検討すること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	行政改革市民会議専門部会において調査及び審議を行っているところであり、その報告を待って廃止等を検討したい。
---------------------	---

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 文化芸術係 内線 167

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	芸術・文化活動の振興						
	施策目標	地域の心を伝え、潤いを実感して暮らす						
	施策名	芸術・文化活動への支援						
	施策の目的	市民が主体的に創造活動などに参加し芸術や美術に慣れ親しむ環境づくりを進めるとともに、芸術、文化活動を通じて様々な市民交流が図られるよう市民の主体的活動を支援する。						
	H24最終予算額	4,984	千円	H24決算見込額	4,482	千円	H25当初予算額	3,000

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	芸術文化振興事業					
	予算科目	10.5.3.5					
	実施状況	砺波市文化祭委託1,800千円 砺波市文化協会運営育成補助金540千円 第36回全国高等学校総合文化祭富山大会（郷土芸能部門）会場使用料2,027千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	芸術文化振興事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
	評価の理由等	文化協会事業等を通じ、市民の創造活動に貢献した。					

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	砺波市文化協会へ、砺波市文化祭（春・秋）の開催委託及び育成補助を図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	砺波市文化協会へ、砺波市文化祭（春・秋）の開催委託及び育成補助を図り、文化活動を通じて様々な市民交流が図られるよう市民の主体的活動を支援する。
	中長期的 (3～5年)	砺波市文化協会へ、砺波市文化祭（春・秋）の開催委託及び育成補助を図り、文化活動を通じて様々な市民交流が図られるよう市民の主体的活動を支援する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	今まで以上に市民が芸術や美術に慣れ親しむ環境づくりを支援する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 芸術、文化活動を通じて様々な市民交流が図られるため必要な事業と考えている。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 文化芸術係 内線 167

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	芸術・文化活動の振興						
	施策目標	地域の心を伝え、潤いを実感して暮らす						
	施策名	芸術・文化活動への支援						
	施策の目的	市民が主体的に創造活動などに参加し芸術や美術に慣れ親しむ環境づくりを進めるとともに、芸術、文化活動を通じて様々な市民交流が図られるよう市民の主体的活動を支援する。						
	H24最終予算額	41,300	千円	H24決算見込額	39,799	千円	H25当初予算額	41,990

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	美術館管理運営事業					
	予算科目	10.5.3.8					
	実施状況	指定管理料27,002千円(砺波市美術館21,141千円、庄川美術館5,861千円) 駐車場賃借料7,461千円、となみ野美術展賞賜金1,500千円、ブロンズ鑄造業務委託1,397千円、庄川美術館監視カメラ取替工事861千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	美術館管理運営事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	指定管理を通じ、市民に芸術文化に触れる機会を提供した。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	指定管理者の文化振興会が公益財団法人となったことで、公益事業についてより充実した事業を行い、市民サービスの低下とまらないよう適正な管理とする。

Action (改善)	来年度 (H26)	既定の指定管理料の中で特色ある事業展開を行い市民本位の管理運営とする。
	中長期的 (3~5年)	適正な指定管理料で、市民サービスの向上に努める。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	将来的に、文化振興会の職員のみで経営できるよう体質強化する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>公財の自主事業の内容充実等とも連携し、市民により芸術文化に親しんでもらう機会を増やす重要な施設として考えている。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線：生涯学習・スポーツ課 文化芸術係 内線 167

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	芸術・文化活動の振興						
	施策目標	地域の心を伝え、潤いを実感して暮らす						
	施策名	芸術・文化活動への支援						
	施策の目的	市民が主体的に創造活動などに参加し芸術や美術に慣れ親しむ環境づくりを進めるとともに、芸術、文化活動を通じて様々な市民交流が図られるよう市民の主体的活動を支援する。						
	H24最終予算額	12,587	千円	H24決算見込額	12,515	千円	H25当初予算額	20,850

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	文化会館管理運営事業（経常的経費）					
	予算科目	10.5.3.7					
	実施状況	指定管理料12,135千円、紙折り機購入135千円、舞台用譜面台購入223千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	文化会館管理運営事業（経常的経費）					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	指定管理を通じ、市民に芸術文化に触れる機会を提供した。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	指定管理者の文化振興会が公益財団法人となったことで、公益事業についてより充実した事業を行い、市民サービスの低下とにならないよう適正な管理とする。

Action (改善)	来年度 (H26)	既定の指定管理料の中で特色ある事業展開を行い市民本位の管理運営とする。
	中長期的 (3~5年)	適正な指定管理料で、市民サービスの向上に努める。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	将来的に、文化振興会の職員のみで経営できるよう体質強化する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>公財の自主事業の内容充実等とも連携し、市民により芸術文化に親しんでもらう機会を増やすための重要な施設として考えている。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの
今年度評価	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 文化芸術係 内線 167

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	芸術・文化活動の振興						
	施策目標	地域の心を伝え、潤いを実感して暮らす						
	施策名	芸術・文化活動への支援						
	施策の目的	地域の伝統文化が、地域の人々によって支えられ、身近なところで学び身につけ受け継がれるように支援する。また文化財や歴史資料などの保存に努めるとともに、市民に親しみを持って文化財が活用されるよう施設整備を進める。						
	H24最終予算額	540	千円	H24決算見込額	463	千円	H25当初予算額	277

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	庄川民芸館管理運営事業					
	予算科目	10.5.3.6					
	実施状況	民芸館維持管理費463千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	庄川民芸館管理運営事業						
	必要性・妥当性	1	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	1	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	1	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	5	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 C			
	評価の理由等	民芸品を保管し、施設の維持に努めた。23年度から散居村ミュージアムで部分展示を行っている。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【廃止・休止】 公の施設としては廃止し、民具等の収蔵倉庫とすることを検討すること。 また、庄川民芸館建屋の外溝部分についても、適正に管理すること。
	前年度二次評価に対する改善策	平成24年度中に民具等の収蔵倉庫として検討する。 また、施設についても適正に管理する。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	行政改革検討委員会における検討内容を踏えて施設管理を行う。
	今年度（H25）	施設及び収蔵品の適正な管理を行う。散居村ミュージアムで企画展示を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	施設及び収蔵品の適正な管理を行い、引き続き散居村ミュージアムで企画展示を行うこととする。 なお、砺波市資料館条例から削除することを検討。
	中長期的 (3~5年)	施設は原則閉館したままで、散居村ミュージアムで収蔵品の展示を行う。また、埋蔵文化財の普及啓発を行うとともに歴史資料の保存に努める。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	展示についてはミュージアムを活用する。施設については、旧出町小学校舎の一部民具収蔵を検討する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input checked="" type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 庄川民芸館の活用方法を検討する必要がある。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	廃止・休止	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	廃止・休止		
今年度評価 の理由	非耐震化施設であり、公の施設としては廃止し、民具等の収蔵倉庫として検討すること。 また、庄川民芸館の外溝部分については、適正に管理すること。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	行政改革市民会議専門部会において調査及び審議を行っているところであり、その報告を待って廃止等を検討したい。
---------------------	---

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 文化芸術係 内線 167

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	伝統文化の継承						
	施策目標	地域の心を伝え、潤いを実感して暮らす						
	施策名	文化財の保護と活用						
	施策の目的	地域の伝統文化が、地域の人々によって支えられ、身近なところで学び身につけ受け継がれるように支援する。また文化財や歴史資料などの保存に努めるとともに、市民に親しみを持って文化財が活用されるよう施設整備を進める。						
	H24最終予算額	32,503	千円	H24決算見込額	16,843	千円	H25当初予算額	34,605

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	文化財保全活用事業①（文化財保護事業費）	
	予算科目	10.5.3.1	
	実施状況	文化財保護審議会委員報酬135千円、指定文化財維持管理交付金440千円 郷土芸能伝承指導者養成事業補助金1,300千円、ふるさと学芸員人材育成事業3,025千円 歴史と文化が薫るまちづくり事業（デジタルミュージアム構築1,995千円、増山城解説看板499千円、駐車場設計委託1,397千円）繰越事業 駐車場造成工事費11,354千円	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	文化財保全活用事業①（文化財保護事業費）			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			A		
評価の理由等	文化財の保存に努め、市ホームページ内に「デジタル文化財ミュージアム」を開設し、市民に親しみを持ってもらう文化財となるように情報発信に努めた。				

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	文化財保護審議会の運営、指定文化財維持管理及び郷土芸能伝承指導者養成事業など、文化財の保全活用の推進に努める。

Action (改善)	来年度 (H26)	引き続き、文化財保護審議会の運営、指定文化財維持管理及び郷土芸能伝承指導者養成事業など、文化財の保全活用の推進に努める。
	中長期的 (3~5年)	指定文化財維持管理及び郷土芸能伝承指導者養成事業など、文化財の保全活用の推進に努める。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	市民にも自らの郷土が誇る指定文化財により親しんでもらえるよう継続的な普及啓発活動が大切である。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>国指定史跡の整備を図りながら地元と連携を取り、イベント等も通じて保存と活用を図る重要で大切な事業。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>
今年度評価	
今年度評価の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 文化芸術係 内線 167

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	伝統文化の継承						
	施策目標	地域の心を伝え、潤いを実感して暮らす						
	施策名	文化財の保護と活用						
	施策の目的	地域の伝統文化が、地域の人々によって支えられ、身近なところで学び身につけ受け継がれるように支援する。また文化財や歴史資料などの保存に努めるとともに、市民に親しみを持って文化財が活用されるよう施設整備を進める。						
	H24最終予算額	2,191	千円	H24決算見込額	2,001	千円	H25当初予算額	2,700

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	文化財保存整備事業①（市内遺跡試掘調査事業）	
	予算科目	10.5.3.2（一部）	
	実施状況	市内試掘調査事業2,001千円	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	文化財保存整備事業①（市内遺跡試掘調査事業）			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			A		
評価の理由等	開発に先立ち埋蔵文化財の保護措置を講じ、遺跡発掘調査事業をとおり資料の記録保存に努めた。				

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	施設及び収蔵品の適正な管理を行う。また、遺跡試掘調査事業を通じ埋蔵文化財について普及啓蒙を図る。

Action (改善)	来年度 (H26)	施設及び収蔵品の適正な管理を行う。また、遺跡試掘調査事業を通じ埋蔵文化財について普及啓蒙を図る。
	中長期的 (3~5年)	試掘調査を行い、埋蔵文化財の普及啓蒙を行うとともに歴史資料の保存に努める。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	展示についてはミュージアムを活用する。また、開発行為等に伴い埋蔵文化財包蔵地内の調査を行うため、計画的には進められない。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 開発行為等に伴い埋蔵文化財包蔵地内の調査を行うため、計画的には進められないが重要な事業。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 文化芸術係 内線 167

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	伝統文化の継承						
	施策目標	地域の心を伝え、潤いを実感して暮らす						
	施策名	文化財の保護と活用						
	施策の目的	地域の伝統文化が、地域の人々によって支えられ、身近なところで学び身につけ受け継がれるように支援する。また文化財や歴史資料などの保存に努めるとともに、市民に親しみを持って文化財が活用されるよう施設整備を進める。						
	H24最終予算額	6,668	千円	H24決算見込額	6,380	千円	H25当初予算額	5,057

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	文化財施設管理運営費②(かいにょ苑・埋蔵文化財センター維持管理費)	
	予算科目	10.5.3.3	
	実施状況	かいにょ苑維持管理4,593千円(利用者約3,596人) 埋蔵文化財センター維持管理1,783千円	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	文化財施設管理運営費②(かいにょ苑・埋蔵文化財センター維持管理費)			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			A		
評価の理由等	かいにょ苑、埋蔵文化財センターの維持管理に努めた。				

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	コスト面に配慮しながら、市民サービスの低下とにならないよう適正な管理とする。

Action (改善)	来年度 (H26)	コスト面に配慮しながら、市民サービスの低下とならないよう適正な管理とする。 庄東小学校と併設するあすなる館の1階を平成26年度に改修して、埋蔵文化財センターとして利用することを検討中であります。
	中長期的 (3~5年)	計画的に、施設の修繕を行う。(かいによ苑の茅葺屋根の維持管理など)
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	維持管理経費の財源確保について検討を要する。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 埋蔵文化財センターの老朽化が著しく、埋蔵文化財の整理状態も思わしくないことから、埋蔵文化財及び民具の展示について検討する。		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	WGにおいて二次評価が必要と判断された事務事業		
前年度評価		維持:これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善:実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化:事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大:対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小:対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合:目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止:廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	改善		
今年度評価 の理由	埋蔵文化財センターについては、旧学校給食センター施設のため老朽化も著しく、手狭で保存状態も思わしくないことから、より適した保管及び展示ができる施設を検討すること。 かいによ苑については、利用者ニーズを把握し、利用者の増加と利用効果が高まるよう改善を図ること。		

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	埋蔵文化財センターについては、平成26年度を目途に庄東小学校旧寄宿舎を改修して埋蔵文化財センターを新設したい。 かいによ苑については、文化財であることから、利用者アンケートなどにより利用者ニーズを把握するとともに、文化財審議委員会にも諮り検討する。
---------------------	---

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 文化芸術係 内線 167

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	伝統文化の継承						
	施策目標	地域の心を伝え、潤いを実感して暮らす						
	施策名	文化財の保護と活用						
	施策の目的	地域の伝統文化が、地域の人々によって支えられ、身近なところで学び身につけ受け継がれるように支援する。また文化財や歴史資料などの保存に努めるとともに、市民に親しみを持って文化財が活用されるよう施設整備を進める。						
	H24最終予算額	13,485	千円	H24決算見込額	10,876	千円	H25当初予算額	11,283

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	増山城跡整備活用事業費	
	予算科目	10.5.3.4	
	実施状況	史跡整備基本計画策定事業3,232千円、史跡土地購入事業6,054千円、普及啓発イベント事業153千円、歩き・み・ふれる歴史の道事業155千円、保存整備事業1,283千円	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	増山城跡整備活用事業費			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	A			増山城跡保存管理計画に基づき、整備活用基本計画の策定を2カ年で実施する。増山城跡公有地化も3カ年で実施する。また昨年に引き続き市民協働事業で地元自治会と実行委員会を組織し、第4回の戦国まつりを開催する。イベント等を通じ国指定史跡の市民への普及啓発に一層努める。今年は1100名の参加があった。ボランティア団体曲輪の会と連携し、普及啓発に努める。

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	増山城跡整備活用事業では、保全管理計画を受けた増山城跡の整備基本計画(2カ年計画)が完成するこから、より多くの市民に普及啓発を図る。また、市民協働開催による「第5回増山城戦国まつり」をより一層の定着化を促進するために【活力あふれる砺波づくり特別枠】により、増山城跡「おらが城」推進プロジェクトを実施する。

Action (改善)	来年度 (H26)	増山城跡整備活用事業では、平成25年度に完成する増山城跡整備基本計画に沿った事業展開を実施したい。
	中長期的 (3~5年)	増山城跡について文化財として市民に普及啓発を行うとともに、また市の観光施設の一つとして全国に発信することで、一層の利活用に努める。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	昨年度実施した解説ボランティア養成講座受講者で組織する自主グループ「曲輪の会」の活動を支援し、より多くの来客に対応するとともに、市民にも自らの郷土が誇る国指定文化財により親しんでもらえるよう継続的な普及啓発活動が大切である。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 国指定史跡の整備を図りながら、地元と連携を取りイベント等も通じて保存と活用を図っていかねなければならない重要な事業。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 文化芸術係 内線 167

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	伝統文化の継承						
	施策目標	地域の心を伝え、潤いを実感して暮らす						
	施策名	文化財の保護と活用						
	施策の目的	地域の伝統文化が、地域の人々によって支えられ、身近なところで学び身につけ受け継がれるように支援する。また文化財や歴史資料などの保存に努めるとともに、市民に親しみを持って文化財が活用されるよう施設整備を進める。						
	H24最終予算額	15,351	千円	H24決算見込額	12,103	千円	H25当初予算額	4,797

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	国営防災埋蔵文化財事業					
	予算科目	10.5.3.10					
	実施状況	御館山館跡発掘調査事業12,103千円					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	国営防災埋蔵文化財事業						
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。				
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）				
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）				
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。				
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下 A			
	評価の理由等	計画どおりに本調査を実施した2カ年事業の1年目である。遺物の整理等を行うために、平成25年度も引続き事業を行い報告書を刊行する。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	遺物の整理等を行うために、平成25年度も引続き事業を行い報告書を刊行する。 H25年度で事業完了。

Action (改善)	来年度 (H26)	
	中長期的 (3~5年)	
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 国庫事業に伴うものであり、必要な事業。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度から新たに実施した事務事業		
前年度評価		維持	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価			
今年度評価 の理由			

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 商工観光課 観光物産係 内線 401

P l a n (計 画)	主要施策名	自然・文化・食がいざなう魅力ある観光の振興						
	施策区分	観光資源の活用						
	施策目標	砺波市観光振興戦略プランに基づき、観光資源を活用し誘客増加を図るため出町子供歌舞伎曳山会館を指定管理するとともに、必要な整備を図る。						
	施策名	観光地施の充実と自然公園の整備						
	施策の目的	出町子供歌舞伎曳山会館の適切な維持管理及び整備を行い、観光客へのサービスと誘客増加を図る。						
	H24最終予算額	14,000	千円	H24決算見込額	13,307	千円	H25当初予算額	14,400

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	出町子供歌舞伎曳山会館事業（指定管理）	
	予算科目	7.1.4.6	
	実施状況	指定管理料 13,307千円	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	出町子供歌舞伎曳山会館事業（指定管理）			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	3	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			A		
	評価の理由等	施設の効果的な利用及び自主事業を開催し、利用者の増加に努めている。			

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	適切な施設管理と更なる利用人数増加に努める。

Action (改善)	来年度 (H26)	適切な施設管理と更なる利用人数増加に努める。
	中長期的 (3~5年)	適切な施設管理と更なる利用人数増加に努める。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史ある子供歌舞伎の伝承・保存のために、必要な施設である。 ・平成24年4月から使用料、入館料の見直しを図り、適正な金額を設定した。 ・平成25年度～29年度（5年間）の指定管理者を砺波商工会議所に選定した。

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	
前年度評価	維持
今年度評価	維持
今年度評価 の理由	<p>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</p>

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 文化芸術係 内線 167

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	伝統文化の継承						
	施策目標	歴史資料や民俗資料は先人が残した市民共有の財産であり、適切に保存管理し有効に活用しながら次世代へ引き継ぐ。						
	施策名	地域文化の理解と継承						
	施策の目的	砺波地方の特色を示す民俗資料や歴史資料の調査研究及び保存活用を図る。						
	H24最終予算額	2,000	千円	H24決算見込額	2,000	千円	H25当初予算額	2,000

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	庄川水資料館管理運営事業	
	予算科目	10.5.3.9	
	実施状況	指定管理料2,000千円	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	庄川水資料館管理運営事業			
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	2	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
			B		
評価の理由等	年間を通じミニ企画展を開催したことから来客数も増え、水資料への関心も深まった。資料閲覧・学習室の改修を行い美術品の収蔵庫とし、有効活用を図る。				

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	周辺施設との連携を図り、利用者増に努められたい。
	前年度二次評価に対する改善策	市ホームページでの積極的な情報発信に努めた。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	市ホームページでの積極的な情報発信及び周辺施設との連携を図り、利用者が微増となった。
	今年度（H25）	施設への来館者を増やすため、昨年に引き続きミニ企画展を開催し、水資料についての普及啓発にも努める。

Action (改善)	来年度 (H26)	引き続き、施設への来館者を増やすため、昨年に引き続きミニ企画展を開催し、水資料についての普及啓発にも努める。
	中長期的 (3~5年)	庄川水資料館が開館以来大規模改修されていないため、施設及び映像展示等の改修を計画的に行う必要がある。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	庄川観光の1拠点となる施設であり、展示等工夫をしているところであるが、映像関係等の改修にはかなりの経費が見込まれる。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input checked="" type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難いが必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 庄川に係る歴史展示に加え、ミニ企画展のように水資料館を使った芸術作品の展示など新たな取り組みも実施するなど指定管理者の柔軟な発想により庄川美術館や庄川まちかどギャラリーと一体的な運営にも取り組むよう検討が必要。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	維持		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価	維持		
今年度評価 の理由	庄川美術館等の周辺施設と連携を図り、企画内容の向上により、更なる利用者の増加に努められたい。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 郷土資料館 業務係 内線

P l a n (計 画)	主要施策名	芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承						
	施策区分	伝統文化の継承						
	施策目標	歴史資料や民俗資料は先人が残した市民共有の財産であり、適切に保存管理し有効に活用しながら次世代へ引き継ぐ。						
	施策名	地域文化の理解と継承						
	施策の目的	砺波地方の特色を示す民俗資料や歴史資料の調査研究及び保存活用を図る。						
	H24最終予算額	19,019	千円	H24決算見込額	18,406	千円	H25当初予算額	19,055

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	郷土資料館運営活動事業					
	予算科目	10.5.5.2					
	実施状況	嘱託職員報酬(3人分,6526千円)、臨時職員賃金(2,944千円)、春秋特別展示事業(752千円)、古文書収集・保存事業(501千円)、民具収集・保存事業(154千円)、旧中嶋家文化財保存事業(4,655千円)、光熱水費(798千円)、施設管理業務委託費(1,096千円) 事務費(980千円)					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	郷土資料館運営活動事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	郷土の歴史資料や民俗資料及び調査研究成果は後世に受け継ぐ大切な財産であり、今後も継続が必要である。施設は指定文化財であり予算措置は必要。						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度(H25)	<ul style="list-style-type: none"> ・旧中越銀行電気配線張替工事 ・春の特別展「砺波から運ぶ、砺波へ運ぶ一人・もの・文化の交流―」 ・秋の特別展「流送に生きた人々」 ・旧出町小学校第3棟に収蔵してある民具を庄東小3階スペースへ移動する ・明治～昭和時代の写真、古文書、民具の収集・整理・収蔵・データ化・調査の継続

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・春の特別展 ・秋の特別展 ・旧中越銀行金唐革紙修繕 ・旧中嶋家住宅シロアリ対策処置
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財建造物の大規模改修（旧中嶋家住宅屋根部分修繕など） ・障害者に優しい施設運営（バリアフリー化など） ・収集した民具の再収蔵展示とその活用促進（市民から愛される民具を目指す。）
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・民具台帳の整備（一般研究者や学生、市民が気軽に検索できる台帳を目指す。）

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input checked="" type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う） <input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>砺波市のあらゆる分野の歴史に関することを手がけており、その膨大な資料の整理を地道に行っている。貴重な文化財の保全と研究内容について、まだまだ市民周知が徹底されていないところがあり、職員の専門性を生かし、本館の運営を考えていかねばならない。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業	
前年度評価	維持	<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>
今年度評価	維持	
今年度評価の理由		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 スポーツ振興班 内線 6-171

Plan (計画)	主要施策名	健全な心と体を育むスポーツの振興						
	施策区分	スポーツ・レクリエーションの振興						
	施策目標	砺波市スポーツ推進審議会の設置。砺波市スポーツ推進委員の育成並びに資質の向上を図る。砺波市内の児童・生徒の体力向上に向け体育専門員の配置。スポーツ行政、指導体制の充実を図るため富山県派遣スポーツ主事の受入れを継続する。						
	施策名	生涯スポーツの振興						
	施策の目的	砺波市のスポーツ推進の基本となる施策の検証及びスポーツ指導体制の充実を図る。						
	H24最終予算額	11,824	千円	H24決算見込額	10,775	千円	H25当初予算額	10,837

平成24年度事務事業の実施状況

Do (実施)	事業名	社会体育振興事業	
	予算科目	10.6.1.2	
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員79名（報酬1,560千円、費用弁償669千円、傷害保険料147千円） ・派遣社会教育主事1名（負担金4,248千円） ・体育指導専門員（臨時）の雇用（緊急雇用創出基金事業1,684千円） ・子どもの体力向上支援事業 幼稚園・保育所での運動遊び教室（21施設延べ241時間） 	

平成24年度事務事業の評価及び分析

Check (評価)	事業名	社会体育振興事業		
	必要性・妥当性	3	点 3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点 3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	3	点 3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点 3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	12	点 A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着したスポーツ推進にスポーツ推進委員が果たす役割は非常に大きく、今後も市民の生涯スポーツ推進には欠かせない位置づけにある。 ・子供の体力はピーク時に比較すると依然劣っている状況にある中、運動遊びの楽しさを実感してもらい体力向上を図ることは、将来のスポーツ能力の基礎づくりともなることから、現在実施している事業は非常に効果的なものである。 		

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

Action (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> ・「となみスポーツプラン」に基づき事業を継続する。子どもの体力向上に効果的な指導内容を研究するとともに、今後も事業を継続するための人員確保と実施体制及び実施方法等を検討する。 ・成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率の向上を目指し、高齢者向けの講習会を実施する。

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・「となみスポーツプラン」に基づき事業を継続する。 ・「となみスポーツプラン」の目標値達成の中間データを取りまとめるとともに、市民意向調査を行い、後期プラン実施計画を作成する。 ・子供の体力向上指導要領DVD Vol.3 (マット・跳び箱編) の作製する。
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した子どもの体力向上への取組みの検討。 ・スポーツ推進委員の育成と資質の向上を図る。 ・市民スポーツボランティア登録者数の拡大。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区のスポーツ推進委員のなり手、人材の確保 (各地区) ・派遣社会教育主事 (スポーツ担当) の継続的派遣 ・社会体育指導員の確保

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部 (廃止を含む。) に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化 (コストを集中的に投入する)	<input type="checkbox"/>	手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化 (費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化 (事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合 (他の事業と統合する、又は廃止する)	<input checked="" type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらいわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>砺波市のスポーツ推進を図る上での基本的な事業であり、事業継続の必要があると考える。ただし、子どもの体力向上支援事業の実施主体については、派遣社会教育主事 (スポーツ担当) 制度が今後も継続されることは未確定のため、それに対応できる体制・運営方法を現時点から検討する必要はある。</p>		

■二次評価 (ワーキンググループにて記載)

選定理由	
前年度評価	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの
今年度評価	①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価 の理由	

■二次評価に対する改善策 (所管課にて記載)

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 スポーツ振興班 内線 6-171

P l a n (計 画)	主要施策名	健全な心と体を育むスポーツの振興						
	施策区分	スポーツ・レクリエーションの振興						
	施策目標	生涯スポーツ社会実現のため、市民一人ひとりのライフステージに応じたプログラムを提供するとともに、関係団体と連携を図った事業を実施する。						
	施策名	生涯スポーツの振興						
	施策の目的	市民の誰もが、個々の体力、年齢、技術、興味・関心に応じて、スポーツに親しむことができる環境をつくる。						
	H24最終予算額	7,446	千円	H24決算見込額	7,354	千円	H25当初予算額	7,446

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	生涯スポーツ振興事業	
	予算科目	10.6.1.3	
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地区体育振興事業委託料3,140千円 各地区140千円、体育振興会連絡協議会200千円（水辺ウオーク531名参加） ・社会体育事業委託料1,000千円 ・学校体育施設開放事業体育館照明用電球交換（450千円）電気料金は学校建設室予算 ・スポーツフェスティバル開催補助金450千円（5,850名参加） ・誰もが気軽に取り組むことができるウォーキングを推進するため、関係先にコース紹介パンフレットを配布したほか、ウォーキング講習会を開催し、更なる普及と周知に努めた。 	

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	生涯スポーツ振興事業		
	必要性・妥当性	2	点 3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。	
	優先性	3	点 3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）	
	効率性	2	点 3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）	
	経済性	3	点 3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。	
	総合評価	4項目合計点数	10	点 A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングは、市民のニーズに対応した事業であり関心が高まっている。日常生活に運動を取り組む市民も増加傾向にあり、継続した取り組みにより着実に効果が表れている。 ・生涯スポーツプログラムの提供については、総合型地域スポーツクラブの活用を検討し、クラブの活性化を図る必要がある。 		

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	ウォーキング講習会の実施やコース紹介パンフレットの配布等により、地区行事やグループによるウォーキングが増加傾向にある。
	今年度（H25）	<ul style="list-style-type: none"> ・となみスポーツプランに基づき、市民意識調査結果に基づいたプログラムを提供し、スポーツ実施率の増加を図るとともに、既存プログラムの内容を検証しながら、25年度以降の庄川水辺ウオークなどスポーツイベントの参加者増につなげる。 ・各地区公民館や体育振興会と連携しウォーキングの普及推進や体力テストを実施する。 ・冬季かんじきウォーキングの実施。

Action (改善)	来年度 (H26)	ウォーキングをはじめ、市民ニーズに対応した生涯スポーツプログラムを提供するため、関係団体と連携の上、より効果的な事業実施を行う。
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツの受け皿として、総合型地域スポーツクラブの活性化を支援する。 社会体育施設利用者との不公平を解消するため、学校体育施設開放事業の施設利用者から負担金（体育館照明の電気料分）の徴収を検討していく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	少子高齢化と人口減少が進む中、市内3つの総合型地域スポーツクラブの役割分担や将来的には合併など視野に入れ、効率的かつ特徴ある事業を行う必要がある。

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input checked="" type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>市民が気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくり、生涯スポーツの推進において重要な事業であると考えているが、今後は、生涯スポーツ及び地域スポーツの推進のため、国が生涯スポーツ推進の受け皿と考える総合型地域スポーツクラブとの連携について検討する必要がある。</p>		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	維持	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの	
今年度評価	維持	②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価 の理由	健康づくりなどに向けた生涯スポーツの更なる活性化を図るため、総合型地域スポーツクラブや体育振興会等の地域団体との連携に努められたい。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 スポーツ振興班 内線 6-171

P l a n (計 画)	主要施策名	健全な心と体を育むスポーツの振興						
	施策区分	スポーツ・レクリエーションの振興						
	施策目標	市民体育大会の開催、県民体育大会・国民体育大会への選手派遣、優秀スポーツ選手の育成、となみ庄川清流マラソン等の開催を通じて競技力の向上と指導者の育成を図る。						
	施策名	スポーツ競技力の向上と指導者の育成						
	施策の目的	全国の舞台で活躍できる選手育成のために、指導体制や運動環境を整備するほか、スポーツ団体との連携により多様なニーズを支える人材の育成と確保を図る。						
	H24最終予算額	8,641	千円	H24決算見込額	8,488	千円	H25当初予算額	6,869

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	スポーツ奨励事業					
	予算科目	10.6.1.4					
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 社会体育事業費（市体開催費・県体派遣費）2,980千円 市民体育大会 約4,467名参加（夏季）、443名参加（冬季）、県民体育大会 990名派遣（夏季）、20名派遣（冬季） となみ庄川清流マラソン開催補助金900千円 参加者数H24 1,208名 県駅伝競走大会選手強化派遣補助金270千円 H24年度第2位（18区間で区間1位3人、2位2人） 県スポーツフェスタ総合第5位 ・小学生駅伝（記念大会：12チーム中第5位） 優秀スポーツ選手育成事業補助金1,200千円 ジュニア選手強化・指導育成事業補助金500千円、B&G海洋センター活動補助金1,500千円 					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	スポーツ奨励事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	<ul style="list-style-type: none"> 市民体育大会が競技力向上に結び付かないという意見もあり、あり方について検討する必要がある。 県駅伝競走大会は、体育協会を中心に学校や競技団体との連携により、ここ4年間で着実に順位を上げている。H24：2位 ← H23：3位 ← H22：3位 ← H21：4位 競技力向上を図るためには中長期的な小・中学生を中心としたジュニア選手育成強化と練習及び指導体制の充実が不可欠である。 						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 「となみスポーツプラン」目標3の競技スポーツの推進の一つである、「県民体育大会総合成績で常に5位以内」はクリアしている。 県駅伝競走大会は、体育協会を中心に学校や競技団体との連携により、現行の男女合同開催となってから過去最高の2位を獲得した。 県体一般の部を補強することで、順位の上昇は可能となる。
	今年度（H25）	（公財）砺波市体育協会を中心に各地区体育振興会や公民館、競技協会などから幅広く意見を求め、市民体育大会の今後の在り方や方向性について検討会を開催する。

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・組織強化した公益財団法人砺波市体育協会を中心に、ジュニア選手育成の一層強化を図る。 ・第10回となみ庄川清流マラソンを記念大会として開催し、生涯スポーツ実践の機会提供と優秀選手育成と発掘、県内外からの参加者拡大に努める。
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線の開通に合わせ、観光関係者と連携を図り大学生の合宿誘致などを積極的に進め、スポーツ交流を通じて競技力向上を図る。(合宿実施の定着を目指す) ・優秀選手育成強化に結び付く地元企業と連携したスポーツイベントの開催を目指す。 ・選手層の厚さが重要であり、スポーツ好きの子どもを育てる環境づくりを推進する。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・競技力向上には、専門的知識を持つ優秀な指導者の存在も大切だが、選手のサポートや練習環境、指導体制の充実が重要であり、競技団体と教育機関の連携に加え地域の理解や協力が必要となる。 ・競技種目に関係なく、横断的な組織による強化体制をいかに確立が課題である。 ・強化のあり方、方向性について(公財)砺波市体育協会、学校、競技団体、総合型地域スポーツクラブ、教育委員会等で検討していく。

■所属長評価

施策としての総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部(廃止を含む。)に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化(コストを集中的に投入する)	<input checked="" type="checkbox"/>	手段の改善(実施主体や実施の手段を代える)
<input type="checkbox"/>	効率化(費用対効果の改善を行う)	<input type="checkbox"/>	簡素化(事業の規模や内容を縮小する)
<input type="checkbox"/>	統廃合(他の事業と統合する、又は廃止する)	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価の理由	<p>A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>競技力向上のための指導体制を再検討する必要がある。 なお、優秀な選手の育成には専門的知識を持つ等優秀な指導者が必要であることから、指導者の資質向上のための活動支援を検討する必要がある。</p>		

■二次評価(ワーキンググループにて記載)

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業		
前年度評価	維持	維持: これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善: 実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化: 事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大: 対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小: 対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合: 目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止: 廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	維持		
今年度評価の理由	各団体の努力により成果が現れており、引き続き、指導者の養成及び資質向上を図りたい。		

■二次評価に対する改善策(所管課にて記載)

二次評価に対する改善策	
-------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 スポーツ振興班 内線 6-171

P l a n (計 画)	主要施策名	健全な心と体を育むスポーツの振興						
	施策区分	スポーツ・レクリエーションの振興						
	施策目標	(公財) 砺波市体育協会活動補助、全国大会等出場者への激励を通じて、競技力の向上と指導者の育成を図る。						
	施策名	スポーツ競技力の向上と指導者の育成						
	施策の目的	全国の舞台で活躍できる選手育成のために、指導体制や運動環境を整備するほか、スポーツ団体との連携により多様なニーズを支える人材の育成と確保を図る。						
	H24最終予算額	36,947	千円	H24決算見込額	36,920	千円	H25当初予算額	32,994

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	体育団体育成事業					
	予算科目	10.6.1.5					
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等出場選手激励補助金 3,729千円 320人 ・市体育協会活動補助金 31,264千円 ・市体育協会60周年事業補助金 1,300千円 					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	体育団体育成事業					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	2	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	10	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			B				
評価の理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会をはじめ、スポーツ少年団、スポーツ指導者協議会など体育団体への活動支援や助成は優秀スポーツ選手や指導者育成だけでなく、市民各層の心身の健康や子どもの人格形成にも寄与するものであり必要性は高い。 ・優秀選手が全国大会等に出場する際の派遣費用を助成することは必要であるが、中学生以下の出場において県内他市町村と比較して一部高額なケースがあり改善を検討していく。 						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	【改善】 事業内容が慣例的になっており、活性化に向けて事業を精査するとともに、指導を行うこと。
	前年度二次評価に対する改善策	市体育協会活動補助については、特に競技力向上のための事業内容について市体育協会担当部会(競技強化部会)と事業内容の改善に向け協議する。
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会において公益財団法人化に向けた役員人事、事業計画、事業収支等について理事会及び各担当部会で検討協議がなされ、内容等を確認し助言、指導を行った。 ・毎月定例打合せによる運営状況等をチェック。助言、指導を強化。
	今年度(H25)	砺波市体育協会の公益財団法人化を契機に事業内容を精査し、組織の活性化と効率化に向けた助言や指導を行う。 (マイクロバスの廃止、研修会及び各種教室など自主事業の見直し等)

Action (改善)	来年度 (H26)	公益財団法人として民間のノウハウを取り入れた運営が可能となる体制の確立を支援する。 ・協会職員の育成と意欲向上につながる賃金確保。 ・人的支援（市職員の派遣、市職員退職者の再雇用・必要性について検討） ・施設の指定管理（利用料金制導入） 全国大会等に出場する派遣費用助成基準の見直し。
	中長期的 (3~5年)	(公財) 砺波市体育協会の安定経営および運営組織体制の充実に向けたサポートを行なう。 ・競技力向上に必要な情報提供、指導者人材の発掘。 ・ジュニア期から一貫した指導体制の確立、スポーツ顕彰の充実、潜在的競技者の発掘ほか。 ・財団経営に必要な収益事業への協力。
	改善・改革を実施する際の課題 又は阻害要因とその解決策	(公財) 砺波市体育協会の組織体制改善へのサポート ・脆弱な財務体制の改善と人材の確保。 ・スポーツマネージメントの強化 ・スポーツ交流分野の開拓等

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/>	重点化（コストを集中的に投入する）	<input checked="" type="checkbox"/>	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
<input type="checkbox"/>	効率化（費用対効果の改善を行う）	<input type="checkbox"/>	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
<input type="checkbox"/>	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/>	現行どおり
所属長評価 の理由	A~C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。 競技力向上のための指導体制を再検討する必要があると考えている。 なお、優秀な選手の育成には専門的知識を持つ等優秀な指導者が必要であることから、指導者の資質向上のための活動支援を更に推進していく必要がある。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度事務事業評価で「改善」又は「廃止・休止」と判断された事務事業 平成25年度の担当係長評価又は所属長評価のいずれかがB以下と評価とされた事務事業		
前年度評価	改善	維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの	
今年度評価	改善		
今年度評価 の理由	事業内容が定型的になっていないか体育協会と連携を図りながら、事業内容を精査し、効果的な指導を行うこと。		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	市体育協会活動補助のうち、特に競技力向上対策事業については、事業効果がより高まるよう体育協会競技強化部会とともに検討したい。
---------------------	--

平成25年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 生涯学習・スポーツ課 スポーツ振興班 内線 6-171

P l a n (計 画)	主要施策名	健全な心と体を育むスポーツの振興						
	施策区分	スポーツ環境の充実						
	施策目標	体育施設の指定管理委託、体育施設の維持修繕・整備、県体協への職員派遣。						
	施策名	スポーツ施設の整備・充実						
	施策の目的	既存施設の利用促進と、長期的展望に立ったスポーツ施設の整備計画を進める。						
	H24最終予算額	203,042	千円	H24決算見込額	192,035	千円	H25当初予算額	200,696

平成24年度事務事業の実施状況

D o (実 施)	事業名	体育施設費					
	予算科目	10.6.2.1					
	実施状況	地域体育館維持管理費12,260千円、体育施設用地賃借料10,535千円、体育施設改修工事費6,264千円、体育施設指定管理運営費159,897千円、温水プール運営費18,321千円ほか					

平成24年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	体育施設費					
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。) 1点：市民ニーズはあるが、市以外(他の公共団体・法人・個人)で実施することが可能である。			
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。(優先度が高い・不可欠) 2点：できるだけ早く実施することが求められている。(優先度がある程度高い・継続が望ましい) 1点：実施時期を延期することが可能である。(他事業に比して優先度がそれほど高くない。)			
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。(見直しを求める意見等がある。)			
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し(事業の一部又は全部(廃止を含む。))が可能である。			
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下		
			A				
評価の理由等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理については随時点検等を行い修繕費の抑制に努めた。 施設改修においては安価でできる工法等を再検討し、コスト削減を図った。 						

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案(なるべく数値目標を用いて記載してください)

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	野球場や砺波体育センターの改修や維持修繕工事において工事費の削減に努めた。 ・野球場カウント表示板改修工事 ・砺波体育センターコートライン工事 ほか
	今年度(H25)	平成25年度末で指定管理の更新に合わせ、地域体育館以外の有料体育施設において利用料金制を導入するため体育施設条例の一部改正を行う。

Action (改善)	来年度 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域体育館を除く体育施設の指定管理の更新に伴い、利用料金制の導入による指定管理者の経営努力を發揮しやすい環境を整え、市民サービス向上と行政コスト削減を図る。 ・老朽化が著しく、今後利用率の向上が見込めない庄川プールや、耐震化が必要で利用効率の悪い庄川勤労者体育センターの廃止や転用は、市民や関係機関の合意形成で進める。
	中長期的 (3~5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化が必要となる体育施設の存廃の方向性や時期、既存施設の改修、維持管理について行革検討委員会の意見をもとに具体的な計画を策定し整理していく。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の施設改修・整備に有利な財源確保を必要とする。 ・特定地域や団体等からの要望や様々な意見が出てくるのが想定されるため、有識者や市民等で組織する行革検討委員会の意見を踏まえ整理に努める。 ・効果的な指定管理の方法の研究

■所属長評価

施策としての 総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	<input type="checkbox"/>	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	<input type="checkbox"/>	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 効率化（費用対効果の改善を行う） <input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	<input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
所属長評価の理由	<p>A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。</p> <p>既存施設はいずれも老朽化しているが、スポーツの推進のためには体育施設が必要不可欠であり、利用者の安心・安全に利用するため、維持管理に積極的に取り組む必要がある。</p>

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由	平成24年度と平成25年度の所属長評価が異なる事務事業	
前年度評価	維持	<small>維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの</small>
今年度評価	維持	
今年度評価の理由		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--